

(仮 称) 日 向 山 風 力 発 電 事 業
環 境 影 響 評 価 方 法 書 に つ い て の
意 見 の 概 要 と 事 業 者 の 見 解

令和 5 年 6 月

ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社

目次

第1章 環境影響評価方法書の公告及び縦覧	1
1. 環境影響評価方法書の公告及び縦覧	1
(1) 公告の日	1
(2) 公告の方法	1
(3) 縦覧場所	2
(4) 縦覧期間	2
(5) 縦覧者数	2
2. 環境影響評価方法書についての説明会	3
3. 環境影響評価方法書についての意見の把握	4
(1) 意見書の提出期間	4
(2) 意見書の提出方法	4
(3) 意見書の提出状況	4
第2章 環境影響評価方法書について環境の保全の見地から提出された意見の概要と事業者の見解	5

第1章 環境影響評価方法書の公告及び縦覧

1. 環境影響評価方法書の公告及び縦覧

「環境影響評価法」第7条の規定に基づき、当社は環境の保全の見地からの意見を求めるため、環境影響評価方法書（以下「方法書」という。）を作成した旨及びその他事項を公告し、方法書及びその要約書を公告の日から起算して1か月間縦覧に供した。

(1) 公告の日

令和5年3月30日（木）

(2) 公告の方法

① 日刊新聞紙による公告（別紙1参照）

令和5年3月30日（木）付けの以下の日刊新聞紙に「公告」を掲載した。

- ・山陰中央新報

② 地方公共団体の広報誌によるお知らせ

以下の広報誌に「お知らせ」を掲載した。

- ・広報やすぎ（令和5年3月20日発行：別紙2参照）

③ 新聞折込によるお知らせ（別紙3参照）

安来市、松江市内に配布される新聞全紙に、「折込チラシ」を同封した。

④ インターネットによるお知らせ

以下のURLに「お知らせ」を掲載した。

- ・ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社 ホームページ（別紙4参照）

https://www.jre.co.jp/news/2023hinayama_houhousho.php

また、以下のウェブサイト情報が掲載された。

- ・安来市のウェブサイト（別紙5参照）
- ・島根県のウェブサイト（別紙6参照）

(3) 縦覧場所

関係自治体庁舎及び交流センターの 10 か所において縦覧を行った。また、インターネットの利用による縦覧を実施した。

① 関係自治体庁舎での縦覧

・ 島根県庁環境政策課	(島根県松江市殿町 1 番地)
・ 安来市役所安来庁舎	(島根県安来市安来町 878 番地 2)
・ 安来市役所伯太庁舎	(島根県安来市伯太町東母里 580 番地)
・ 安来市役所広瀬庁舎	(島根県安来市広瀬町 703 番地)
・ 東比田交流センター	(島根県安来市広瀬町東比田 950 番地 11)
・ 宇波交流センター	(島根県安来市広瀬町宇波 482 番地 2)
・ 赤屋交流センター	(島根県安来市伯太町赤屋 118 番地 2)
・ 井尻交流センター	(島根県安来市伯太町井尻 77)
・ 松江市役所都市政策課	(島根県松江市末次町 86 番地)
・ 松江市役所環境エネルギー課	(島根県松江市学園南 1 丁目 20 番 43 号)

② インターネットの利用による縦覧

- ・ ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社 ホームページ (別紙 4 参照)
https://www.jre.co.jp/news/2023hinayama_houhousho.php

(4) 縦覧期間

令和 5 年 3 月 30 日 (木) から令和 5 年 5 月 1 日 (月) までとした。

上記期間の縦覧可能な日時について、縦覧場所は各施設の開庁日及び時間とし、インターネットは常時アクセス可能とした。

(5) 縦覧者数

縦覧者数 (意見書箱への投函者数) は 24 名であった。

(内訳)

・ 島根県庁環境政策課	5 名
・ 安来市役所安来庁舎	14 名
・ 安来市役所伯太庁舎	0 名
・ 安来市役所広瀬庁舎	0 名
・ 東比田交流センター	0 名
・ 宇波交流センター	2 名
・ 赤屋交流センター	0 名
・ 井尻交流センター	0 名
・ 松江市役所都市政策課	3 名
・ 松江市役所環境エネルギー課	0 名

2. 環境影響評価方法書についての説明会

「環境影響評価法」第7条の2の規定に基づき、方法書の記載事項を周知するための説明会を開催した。

(1) 公告の日及び公告方法

説明会の開催公告は、環境影響評価方法書の縦覧等に関する公告と同時に行った。(別紙1～6 参照)

(2) 開催日時、開催場所及び来場者数

説明会の開催日時、開催場所及び来場者数は以下のとおりである。

- ・ 開催日時：令和5年4月13日（木）19:30～21:45
- ・ 開催場所：安来市 赤屋交流センター
(島根県安来市伯太町赤屋 118 番地 2)
- ・ 来場者数：40 名

- ・ 開催日時：令和5年4月14日（金）19:00～21:00
- ・ 開催場所：安来市 東比田交流センター
(島根県安来市広瀬町東比田 950 番地 11)
- ・ 来場者数：10 名

- ・ 開催日時：令和5年4月15日（土）13:00～14:30
- ・ 開催場所：安来市 宇波交流センター
(島根県安来市広瀬町宇波 482 番地 2)
- ・ 来場者数：16 名

- ・ 開催日時：令和5年4月15日（日）19:00～20:30
- ・ 開催場所：安来市 井尻交流センター
(島根県安来市伯太町井尻 77)
- ・ 来場者数：30 名

- ・ 開催日時：令和5年4月22日（土）14:00～16:00
- ・ 開催場所：松江市 くにびきメッセ
(島根県松江市学園南 1 丁目 2-1)
- ・ 来場者数：23 名

- ・ 開催日時：令和5年4月23日（日）14:00～16:00
- ・ 開催場所：安来市 総合文化センター アルテピア
(島根県安来市飯島町 70)
- ・ 来場者数：45 名

- ・開催日時：令和5年4月29日（日）14:00～17:00
- ・開催場所：安来市 総合文化センター アルテピア
（島根県安来市飯島町70）
- ・来場者数：35名

3. 環境影響評価方法書についての意見の把握

「環境影響評価法」第8条の規定に基づき、環境の保全の見地から意見を有する者の意見書の提出を受け付けた。（別紙7参照）

(1) 意見書の提出期間

令和5年3月30日（木）から令和5年5月18日（木）までの間とした。
（郵送の受付は当日消印有効とした。）

(2) 意見書の提出方法

環境保全の見地からの意見について、以下の方法により受け付けた。

- ① 縦覧場所に備え付けた意見書箱への投函
- ② 当社への郵送による書面の提出

(3) 意見書の提出状況

合計301名の方から317通の意見書が提出された。その内訳は以下のとおりである。
意見の総数は287件であった。
なお、意見のうち一言一句同一のものについては、意見数は1件とした。

（内訳）

安来市	128件
松江市	49件
島根県内	37件
島根県外	103件

第2章 環境影響評価方法書について環境の保全の見地から提出された意見の概要と事業者の見解

「環境影響評価法」第8条第1項の規定に基づき、環境影響評価方法書について、環境の保全の見地から提出された意見の概要並びにこれに対する事業者の見解は表2-1のとおりである。

表2-1 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解

No.	意見の概要	事業者の見解
1	先日の説明会に行きました。風力発電事業をする為に今後どのような調査をして、検討していくかという事は説明で十分にわかりました。 ただ、いくら安全面や環境に配慮しても、山の環境や住民にはメリットよりもデメリットの方が多いと思います。風力にかかわらず、色々な公共事業や小さな事で言えば個人個人の生活でさえ、環境を壊してしまっていますが、これ以上大規模な工事で山を壊したくないです。現代の生活スタイルでは電気が重要な事もわかりますが、人間以外の多くの生物が暮らす山の重要性をしっかりと調べて頂きたいです。 風力発電の会社が風力発電の仕事をするのは当たり前の事ですし、住民とは立場が違うので、話が平行線になってしまうだろうと思います。行政側がどう考えているのか、説明会ではわからなかったのと、広範囲の住民への周知がおろそかだったと思います。	生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。 事業を検討するにあたり、行政の関係部署に相談を行いながら、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。 説明会の実施については、事前に新聞広告・新聞折込みチラシ、および雲南市、安来市、松江市市内へ全戸配布も実施し、広く周知しております。雲南市、安来市については市内放送、市の広報誌、雲南市についてはさらにテレビCMも活用し広く周知致しました。周知方法については、今後、行政の関係部署等に相談のうえ、検討してまいります。
2	2023年4月22日の松江市内（@くにびきメッセ）での説明会に午前午後参加させていただきました。その際の質問に対するご回答について一晩考えておりました。 そして、やはり納得いかない点がありましたので、改めてご質問させていただきたく、メッセージさせていただきました。 騒音に関する対応について 倒木など経年による周辺環境による変化により、音が大きく聞こえるようになったご家庭に対して、調査をした結果、二重サッシにする対応をしたことがある、というお答えがありました。 この件について、質問と意見をお伝えさせてください。 そのご家庭の方々が感じられた騒音については、二重サッシで確かに対応できたのかもしれませんが。 ですが、その方々は、夏の暑い日には窓を開けて過ごされることで、涼しい風が入り、クーラーなどもあまり使わない生活をしておられたのかもしれません。（実際、私は住宅街に住みながらも山の麓でもあるため、猛暑と言われる2022年の夏も、その前からも、ほとんどクーラーを使わずに暮らせています） そういう暮らしをしておられた場合、騒音により窓を閉め	風力発電機に対する騒音については、準備書において風力発電機建設前の現地の音環境（残留騒音）を調査し、「風力発電施設から発生する騒音に関する指針」（環境省、平成29年）に基づいて予測及び評価いたします。また、その結果を踏まえ、環境影響評価法に則り外部専門家の審査を受け、必要に応じて風車配置の変更や規模の縮小も含め回避・低減するための保全措置を検討してまいります。 その上で、騒音の訴えが発生した場合は、騒音回避低減について対策を講じる考えです。 合わせて生活スタイルの変化が生じる事象が発生した場合も、住民の皆様のご意見を伺い、真摯に対応してまいります。 可能性や事前対応は、計画段階での環境影響評価法等に基づいた各環境項目が可能性となり、各環境項目の調査、予測及び評価、をもとに事業計画を行うことが事前対応になると考えます。 弊社では初期で運転開始している発電所から環境影響評価法に基づいた計画を行っており、

	る暮らしの必要性が生じた結果、夏場はクーラーなどを使う時間が増えるかもしれません。その結果、電気の使用量も増えますし、電気代の支払額も増える可能性もあります。 このような視点で考えた際 1)騒音の訴えについて、対応されることは、真摯な姿勢のように見えますが、それにより変化する生活スタイルがあることを、どの程度想定されて、対応されていますか？ 2)騒音の様子が変わったら、音が聞こえにくくなる対応をするというのは、代替案ではないでしょうか？ 3)その様な状況を回避するために、どの程度の可能性を想定し、どの様な事前対応をして来られましたか？ 4)これまで建設運用の実績を重ねてこられる中で、地域住民の方の暮らしや自然環境への不利益な影響を最小限に留めるために、考慮される項目や内容、その質について、なにか変化はありましたか？ 5)これらの意見や質問について、いつ、どの様にご回答いただけるのでしょうか？	環境負荷への回避低減を行い、よりよい事業計画にする方針に大きい変化はございません。しかし、社会条件の変化に伴い、環境影響評価法における調査項目以外の調査を行っております。 また、弊社の風力発電事業において、環境影響評価法の対象となっている事業については、当該法令に則り手続きを行っております。なお、いただいた意見書の事業者見解については準備書に記載をいたします。
3	3.1-24, 25 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況 ☆調査範囲が北～西側に偏っているのはなぜですか？(3-1-26、43) ☆大出日山の例よりも調査範囲がせまいのはなぜですか？ ☆設置予定地域の半径 20km は範囲で調べていただきたいです。 あまりにも自然環境の影響範囲をせまくみておられる様に思います。	P. 3.1-26、43 でお示ししている調査範囲は国土地理院発行の 1/25,000 の地形図の図郭割の範囲に準拠しているもので、北～西側に偏っていますが、文献資料によっては、安来市、雲南市、奥出雲町、日南町、南部町で確認された種を収集しておりますので、文献資料調査の範囲としては妥当であると考えております。
4	地すべり土砂崩れの可能性については評価されないのでしょうか？ 今も土砂崩れや地すべりなどハザードマップでは日向山周囲は危険地域の色分けがされています。 少しでもハザードマップに載っている危険エリアで山をけずり木を伐ることで土砂崩れの危険が増すのではないかと思います。 1 度崩れてからでは遅いです。 「評価」で大丈夫でも実際は異なることも多くあります。その差をどの様に「評価」されますか？	対象事業実施区域においては、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の指定はございません。今後、現地での測量、地質調査、地盤調査等を行い、現地の状況を的確に把握した上で詳細な事業計画を検討する方針です。その上で、事業計画の詳細検討に当たっては、水源かん養保安林及び土砂流出防備保安林等の指定状況や当該林分の現存状況等に留意し、関係機関等とも協議・調整し、必要な手続きを適切に進めながら、計画熟度を高めていく方針であり、極力既存林道を活用することで必要最低限の改変面積とする方針です。その上で、下流における土砂災害リスクを高めないよう、関係機関と協議を実施し、適切な設計を検討してまいります。環境影響評価手続きの中では、「土地の安定性」を項目として選定しており、準備書においてボーリング調査等の地質調査結果やそれに基づいた予測及び評価結果をお示しします。
5	3.1-17 (34)	今後、現地での測量、地質調査、地盤調査等を

	地盤沈下の状況において R2 年度の全国地盤沈下地域概況により地盤沈下は確認されていない ↓ 1) 大きな重たい建物（風車）が何基も建った場合の地盤沈下の可能性はどの様に評価されますか？ 2) 経年による自然環境の変化と、それにとまなう地盤沈下の可能性はどの様に評価されますか？	行い、現地における現況把握を行い、事業計画を適切に検討してまいります。また、環境影響評価手続きの中では、「土地の安定性」を項目として選定しており、準備書においてボーリング調査等の地質調査結果やそれに基づいた予測及び評価結果をお示しします。 なお、工事計画届においては、風車本体だけではなく基礎構造においても第三者機関の認証を得る必要があり、認証が得られない場合は工事着工ができない制度となっております。
6	（仮称）日向山風力発電事業地（南側）に周囲を取り囲まれた坊床湿地は、中国山地の山陰側では珍しい貴重な山間湿地です。この湿地にはヒロシマサナエ <i>Davidius moiwanus sawanoi</i>（トンボ目サナエトンボ科モイワサナエの西中国地方固有亜種）をはじめとする希少生物が確認されており、今後調査が進めば、更に希少種が追加されることは確実と思われます。 事業地南側への降雨は、全てこの湿地に集水・流入するため、湿地に及ぼす当該事業地からの影響が非常に大きく、憂慮するところです。方法書を読ませていただき次の2点について見直し検討していただくようお願いします。 1. 昆虫類の調査に、陸上昆虫調査のみが記載されているが、水生昆虫についても調査計画に記載し調査実施すること。近年の水生昆虫の激減状況は全国各地で指摘されているところであり、その状況把握は必須である。また陸上で確認できる期間・条件が厳しい種（例えばヒロシマサナエ）についても、非常に有効な補完調査となる。底生動物調査の中で軽く触れるだけでなく、昆虫類の項でもはっきりと記載し、確実な調査実施を行うこと。 2. 水質調査地点、底生動物調査地点として坊床川と東比田川の合流地点のみが記載されているが上記理由により坊床川の上流端部（坊床湿地部分）についても調査地点として追加すること。 今後実施される調査においてこの湿地の希少性・重要性を明らかにしていただき、事業の中止・事業地の移転等を検討していただくようお願いいたします。 （別資料の同封あり）	昆虫類の調査については、陸上昆虫の調査の際に湿地等に生息する水生昆虫についても併せて確認に努めます。 坊床川の上流端部（坊床湿地部分）については陸上昆虫の調査の際に併せて確認に努めてまいります。 水質調査地点として、坊床川に沿う林道の拡幅の可能性も考慮し、坊床川の現在の浮遊物質量を測定する地点として調査地点7を設定させていただきました。工事中の濁水の影響に係る予測においては、調査地点への流入の有無ではなく、各沈砂池から最寄りの河川への濁水到達の有無を予測いたします。また、沈砂池の配置や排水方向等、河川に直接流入しないような工事計画を検討します。
7	風力発電環境影響について要望 ・風力発電関係工事及び発電実施に関し配慮いただき、影響の少ない方法を考えていただきたい（工事等の場、周囲の植生への配慮を） ・植物に関心があります。 一度絶えたと復帰（回復）は難しいのが心配です。 ・できるだけ影響を受けない、絶えてしまわないよう配慮ください。 ・安来付近の新聞にとりあげられた記事を同封しました。	本事業における土地の改変面積については必要最小限とし、周囲の植生の影響に配慮した計画を検討してまいります。 現地調査で確認された重要種への影響の回避、低減を最優先とし、回避が困難な場合は移植等の環境保全措置を検討してまいります。

	(別資料の同封あり)	
8	環境影響評価方法書 126 ページ、「表 3.2-8(1)水道用水の取水状況」に松江市が含まれていないが、飯梨川から松江市に水道用水として送水されている。 「水環境の水量」について、発電所に係る環境影響評価の手引で水環境として水質だけが選定されているため、調査、予測及び評価の手法に含まれていないと思われる。 しかし、環境保全の見地から森林開発により、保水機能、地下水脈への影響が懸念されるため、周辺河川並びに地下水の水量調査を追加する考えはないか。 なお、安来市が策定したガイドラインに、「水道水源保護地域や周辺住民が生活用水として利用している沢水・井戸水等の水源地への影響や、土地の改変や森林の伐開による「地下水の水量」への影響がないよう、必要な措置を講じるものとする。」との記述がある。	風力発電機の設置に伴う水源（地下水及び河川流水）への影響について、地下水につきましては、今後、環境影響評価法の項目とは別に専門家ヒアリングや、利用状況及び位置を把握し、水利用されている井戸等において湧水量や水質の調査を行う予定です。また、河川流水の水質については、環境影響評価の中で、沈砂池排水の到達距離を予測し、河川に直接流入しないような工事計画を検討し、水質への影響を極力回避又は低減できるような計画に努めてまいります。なお、調査、予測及び評価の結果につきましては準備書にてお示しさせていただくとともに、方法書同様に説明会にてご説明させていただきます。
9	農業をしているのですが、風力発電を設置したことで平地で鹿や猪が増えたという話を聞きました。山を切り崩すことで住む場を追われた動物達が島田方面に来る可能性もあると思いますが、推測の域を出ないので、実害が出ている方々から話を聞くしか出来ません。絶対大丈夫と言って頂けないと安心してこの事業の応援をすることができません。 20年で撤退するという点も、時間・労力・お金をかけて行うにすれば、環境破壊にもつながり、産業廃棄物も出るし、目に見えない低周波による健康被害などデメリットの方が大きすぎると感じます。 SDGs を掲げる日本で逆行している事業と思います。 安来という人口の少ない土地ですが、そこに暮らす市民を不安な気持ちのままにはさせないで下さい。20年で撤退するなら、最初からどうか行わないで下さい。	今後、現地で環境調査を実施し、環境への影響を適切に予測及び評価を行ったうえで十分に生活環境ならびに自然環境に配慮した事業計画としていく方針です。また、現状は固定価格買取制度に則り、20年間で事業の採算がとれるような計画を検討しておりますが、法制度も変化しており、電力の小売りを出来るようになったため、固定価格買取制度に則らない売電方法、20年後以降も事業を継続できる方法を検討しております。万が一撤去することになったとしても林野庁が定める開発行為の許可基準の運用細則においては、「現状回復等の事後措置」とは、開発行為が行われる以前の現状に回復することに固執することではなく、造林の実施等を含めて従前の効用を回復するための措置とされており、本事業においても土地管理者及び許可権者と協議の上、植栽をするなど適切な対応を取ることを検討しております。
10	東比田地区が垂直視野角 1 度以上で視認される可能性のある範囲に設定されていたが (p. 351)、田中地区から実際にどのように見えるのか、3D シミュレーションのようなものが見たいです。	今後の手続きにおいて現地調査を実施し、準備書における住民説明会にてフォトモンタージュをお示しいたします。
11	安来市には環境省選定も受けた名水があります。簡易水道の原水としても利用されているこれらの水は、古来より伝説もありその水が絶えたこともありません。御社の方法書では、安来市各地にある、名水の、水質・水量等現状に影響を与えない確証が得られません。 また地下水脈に手を出してはいけません。取り返しはつかないのです。 よって、即時撤退を求めます。	風力発電機の設置に伴う水源（地下水及び河川流水）への影響について、地下水につきましては、今後、環境影響評価法の項目とは別に専門家ヒアリングや、利用状況及び位置を把握し、水利用されている井戸等において湧水量や水質の調査を行う予定です。また、河川流水の水質については、環境影響評価の中で、沈砂池排水の到達距離を予測し、河川に直接流入しないような工事計画を検討し、水質への影響を極力回避又は低減できるような計画に努めてまいります。なお、調査及び予測及び評価の結果に

		つきましては準備書にてお示しさせていただくとともに、方法書同様に説明会にてご説明させていただきます。
12	動物・植物・生態系の調査、予測内容についての中で、コウノトリについては上記項目の調査の中で確保された場合、飛翔状況等を記録するとあるが、これはどういうことなのかよく分からない。 今現在、安来市雲南市の各所に毎年コウノトリは飛来しており、年毎に目撃地点、個体数が増しており、更なる生息環境の保護活動が求められる中、生育に良い影響を与えるとは思えない風車を1基でも建てるのは、反対です。	鳥類調査を主とした現地調査において、コウノトリの飛翔状況や飛翔方向を記録いたします。 そして、調査結果をもとに予測及び評価を行います。その後、有識者からのご意見を踏まえ、適切な環境保全措置について検討してまいります。
13	施設の稼働による騒音及び超低周波音の調査・予測について、日向山の現地調査をする以前に、同等出力・環境の稼働施設での実測値を示し、各地での健康被害を真摯に受け止め、風車との因果関係を認めるべきです。 私自身が過去に風車の影響を受けた経験があるため、同様の被害を受ける人を出さないためにも、風車の建設には断固反対します。 即時全面撤退を求めます。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
14	風車建設反対！！ 子どもたちに「負の遺産」を残さないで！！	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
15	クリーンエネルギーを謳うのなら山や水源を壊さないで下さい。島根県に不要。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
16	1. 水源ゆたかな日向山付近の自然環境に多大な悪影響が出てくると思われますが～影響を適切に考慮するという事で解決できる問題でしょうか 2. 足立美術館は国内 No.1 の人気を世界的に誇る周りの自然環境とマッチしたミュージアム。眺望をどう守って頂けるのか聞かせてほしい 3. 事業実施に伴う、資材運搬に必要な道路確保のため森、山野が切り開かれることで、自然環境にまた多大な影響が想定されます。(例) 獣害 動物が里へ進出、など、獣害調査の実施とはどういうことですか 4. 松江市は、日向山ふきの布部&山佐ダムの水の流れる飯梨川水系から水道を 30%供給しています。水に寸部も悪影響がでない保障のない計画には納得できません。 ☆書ききれませんが～悪影響を考慮されるなら、この場所での実施を見直し、とりやめて頂きたい。	1. 今後実施する現地調査結果を踏まえて、騒音や低周波音、水質、動物、植物、生態系などへの影響を予測いたします。準備書においてその予測結果を記載するとともに、環境保全措置も記載し、住民の皆様及び環境への影響を可能な限り低減させる計画を検討してまいります。 2. 足立美術館につきましては、日本庭園から望む眺望景観への影響を回避する事業計画といたします。 3. 本事業における土地の改変面積については、必要最小限とし、森林伐採を可能な限り避けるような計画を検討してまいります。 獣害調査は環境影響評価の項目ではございませんが、工事等による影響を鑑み、獣害調査の実施について検討してまいります。 4. ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を

		検討してまいります。
17	日向山に関しては、自然の豊かな山深立地に建設計画。この場所に住む動物達の影響を心配します。今でさえ、人間の住む地域を降りてくる事が問題となる中、建設による森林破戒、低周波、騒音により、動物達は更に住む所を失う事になると思われます。低周波に敏感な動物には、広範囲への影響が考えられるのではないのでしょうか。 先進に行く海外では、風力での電力安定供給の難しさは立正済で、風力を導入することで現状の電力供給をまかなえない事は明確です。	動物に対する低周波音、騒音への影響については確認された事例は把握しておりません。影響が認められた場合は専門家等の意見を踏まえ環境保全措置を検討してまいります。 建設後は、当社グループで適切に保守メンテナンスを行うことで安定的な発電所の運営及び電力供給をできるように計画を検討してまいります。
18	勉強会資料を同封します 不安要素が列記されていますのでとりのぞく説明をして下さい (※添付資料あり)	今後実施する説明会においても、丁寧な説明会を心がけ、皆様の不安が取り除かれる様努力いたします。
19	先月の説明会では、「安来市の水源なんですよ!!」という方がおられましたが、宇波の方は、安来市全体というよりも宇波という小さな単位で考えておられる方が多いのではないのでしょうか？私が心配しているのは、生活に直結している水の事です。宇波地内の水道水は、滝奥にある水源ダムの水でまかなわれていて、このダムの水がなくなったり、水質が汚染されてしまうと、水道が使えなくなってしまう。宇波の多くの家庭では稲作農業をしておられ、その水は、山水しかありません。ここ近年、温暖化のせいでしょうか、水不足になる年もあり、米作りも水の確保が大変です。そういった状況の中、この水不足が、もっともっと深刻化していかないか、不安です。この水について、よく調査していただき、事業を進めてもらえると幸いです。地元は、こういった生活に直面することが一番ききたいことだと思うので、とある団体の方々が、市内のほうでいろいろと言われていることとは、少しちがうと思っています。 不安が取り除かれると、ホっとする気がします……。よろしくお願いします。	風力発電機の設置に伴う水源（地下水及び河川流水）への影響については、地下水につきましては、今後、環境影響評価法の項目とは別に専門家ヒアリングや、利用状況及び位置を把握し、水利用されている井戸等において湧水量や水質の調査を行う予定です。また、河川流水の水質については、環境影響評価の中で、沈砂池排水の到達距離を予測し、河川に直接流入しないような工事計画を検討し、水質への影響を極力回避又は低減できるような計画に努めてまいります。なお、調査、予測及び評価の結果につきましては準備書にてお示しさせていただくとともに、方法書同様に説明会にてご説明させていただきます。
20	米子市民ではありますが、中海公園等、日常的に安来市を訪れます。他県の例では、700kW も風力でも谷中に共鳴し、10km 近くても低周波音の健康被害が存在します。その数倍の 4000kW 等、このような町の近辺に建設は言語道断です。近隣に一基でも建てることのできる見込が出来る、多数の計画をゴキブリのように引き寄せるものです。鳥取県の多数の風力発電のせいで、このような計画が来ていると思われます。絶対に許されることではありませんので、このような計画についてそのデメリットを広く市民、近隣県に広告されるよう、強く意見します。鳥取県の計画についても、そのように行政に要請して行きます。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
21	風力発電が設置された場合の騒音や低周波による健康被害（不眠・頭痛・不妊など）について不安がある。	騒音や低周波音の予測においては、標高データ等を用いて地形による音の伝搬状況を考慮した予測を実施いたします。その結果を踏まえ、

		騒音や低周波音の影響を極力低減できるような事業計画を検討してまいります。
22	風力発電のために山を切り崩すことによる土砂災害について不安がある。	風力発電機に対する騒音については、準備書において風力発電機建設前の現地の音環境（残留騒音）を調査し、「風力発電施設から発生する騒音に関する指針」（環境省、平成 29 年）に基づいて予測及び評価いたします。また、その結果を踏まえ、環境影響評価法に則り外部専門家の審査を受け、必要に応じて風車配置の変更や規模の縮小も含め回避・低減するための保全措置を検討してまいります。 その上で、不測の事態において事業に起因する事象で、弊社に責任がある場合は、生じた損害に対し、補償させていただく考えです。 また、弊社の風力発電事業において、環境影響評価法の対象となっている事業については、当該法令に則り手続きを行っております。なお、いただいた意見書の事業者見解については準備書に記載をいたします。
23	足立美術館や猿隠山・月山富田城跡・松江城からの眺望景観が壊されることについて不安がある。	足立美術館につきましては、日本庭園から望む眺望景観への影響を回避する事業計画といたします。猿隠山、月山富田城跡、松江城につきましては、今後の手続きにおいて現地調査、予測及び評価を行い、眺望景観への影響を極力回避又は低減できるような計画に努めてまいります。
24	山を切り崩し、風車を設置することで、井戸水や伏流水の水質が汚染されたり、山の生態系が崩れ野生動物が人里にやって来ることについて不安がある。	風力発電機の設置に伴う水源（地下水及び河川流水）への影響について、地下水につきましては、今後、環境影響評価法の項目とは別に専門家ヒアリングや、利用状況及び位置を把握し、水利用されている井戸等において湧水量や水質の調査を行う予定です。また、河川流水の水質については、環境影響評価の中で、沈砂池排水の到達距離を予測し、河川に直接流入しないような工事計画を検討し、水質や野生動物への影響を極力回避又は低減できるような計画に努めてまいります。
25	山を切り崩すことによって特別天然記念物のオオサンショウウオ等の希少な動植物が姿を消したり、自然植生や保安林等に影響が出ることに不安がある。	事業実施によるオオサンショウウオ等の希少な動植物への影響を極力回避又は低減できるような計画に努めてまいります。
26	ハクチョウやコウノトリ、オオタカなどの鳥類、希少種の多いコウモリの減少、パードストライクが起こることを心配している。	現地調査の結果を踏まえ、予測及び評価を行ってまいります。また、可能な限り影響を回避又は低減するよう適切な環境保全措置について検討してまいります。
27	すでに騒音や低周波による被害がかなり出ているにも関わらず、全国でも前例のない巨大な風力発電施設を立てられることに対して不安しかない。 巨大な基礎を打ち込むことで山がダメになってしまうこ	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるよ

	とも、長い目で見ると広範囲の住民に影響がでる。 万一健康被害が出た時に原因うやむやにせず調査を行って責任をとってもらえるのでしょうか。	うな計画を検討してまいります。その上で、不足の事態により事業に起因する健康被害が発生し、弊社に責任がある場合は、適切な対応策を講じ、生じた損害に対し、補償させていただく考えです。
28	本当にやめてください、目先の利益ではなく、この地球の限られた資源をどう持続させるかを考えてください。	風力は、枯渇することなく将来にわたって永続的に利用することができる再生可能なエネルギー資源です。また、風力発電の導入拡大によって二酸化炭素を排出しない環境に優しいエネルギーを創ることが可能になり、温室効果ガスの排出削減に取り組みながら、地域の活性化にも資することを目指しております。
29	私も、なぜ電気のために動植物や自然、命を削る必要があるのか、全く賛同出来ません。 水の汚染の可能性があるので、また、低周波などの大きな影態もあるため、人の命までも危険にさらす可能性があるなら、それだけで計画は中止して頂く事が当然ではないでしょうか。 道を作るため、また発電機を支えるため、他工事のためにも、山を削ると、その地表を生態系を支えている木の根が無くなり、大雨の度にその土地から村落を丸ごと土砂が潰してしまう現実を沢山近年見ているではありませんか。 人の命を奪う可能性のあるものを、しかも、島根の少ない人口を支える電力は、すでに原子力発電所があり、ただでさえ危険と隣り合わせに暮らすリスクを背負っているというのに、これ以上の危険と、最大の財産である、島根の美しい山々や、自然を壊さないで下さい。 その可能性のあるこの風力発電事業は、一切、取りやめて頂く事を希望します。	騒音や低周波音は、距離が離れるほど減衰していきますが、地形等の状況により騒音の伝搬状況は大きく変わる可能性もございます。予測では標高データ等を用いて地形による音の伝搬状況を考慮した予測を実施します。 また、今後現地調査を実施し、生態系や水質への影響について適切に予測いたします。その結果を踏まえ、環境への影響に配慮した事業計画を検討してまいります。
30	壊れた場合の修理や撤去は、何処が責任をもつのですか？ デメリットの方が多すぎる。	風車の撤去については弊社が責任をもって行います。また、風車が故障した場合の修理については、弊社の子会社である JRE オペレーションズが責任をもって対応いたします。
31	*山をわざわざ大規模に切り開き、風力発電所を作ることで、地域住民にはどのようなメリットがありますか？ *また、どのようなデメリットが想定されますか？ *この発電所で電力を提供することによる、当該地域市民、周辺地域の市民、島根県民、周辺地域の県民、および日本国民全体へのメリットとデメリットは何でしょうか？ *この発電所が設立されて稼働しない事による、当該地域市民、周辺地域の市民、島根県民、周辺地域の県民、および日本国民全体へのメリットとデメリットは何でしょうか？	本事業のメリットにつきましては、地元貢献を検討しております。これまでの事例として、祭事・ボランティアへの参加、獣害対策事業への寄付、企業版ふるさと納税、発電所見学等様々な施策を実施しております。他にも「次世代を担う子供たちへの支援」をテーマに、奨学金の支給（高校生、高専生向け奨学基金の設立）、ランドセル購入費用補助、再生可能エネルギーに関する学習コンテンツ付ノートの無償配布等を実施しております。上記に限らず地元特性にあった内容とするために、地元の皆様のご意見を参考に検討してまいります。 本事業を実施するにあたり、生活環境への影響、動植物への影響、工事による周辺地域への影響が想定されますが、今後、現地調査を実施

		し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。 また、地球温暖化問題に対応していくことは国際社会においても現在の最重要課題の一つであり、我が国の施策、行政・まちづくりにおいても、温室効果ガスの排出削減に取り組むことは喫緊の課題とされています。本事業は、この課題に取り組みながら、地域の活性化にも資することを目指して推進しようとするものです。
32	風力発電を設置することによって除草剤散布がされることを懸念しています 除草剤散布によって中海や宍道湖などの水質汚染、生態系の破壊が考えられますので風力発電計画の中止を求めます	本事業において、除草剤の散布はいたしません。
33	子育てしながら無農薬でお米や野菜を作るためにこの地に越してきました。お水も井戸水です。水は100年前のものがゆっくりゆっくり大地のおかげで飲めるものとなりいま、いま、いま、私達の命を繋いでくれています。人間が生態系を殺してその可能性のある物を建ててお金を貰って何が循環していきますか？これからの未来に。建つ土地だけの問題ではありません。自然界はすべて繋がっている！いま反対しなければ、子供たちに水を残せません。命を間接的に奪う風力発電建設には大反対です。電力は安定性に欠け供給にも問題がある、誰の為になるのでしょうか？大地が循環しなければ動植物も死ぬ。自然界が死ねば酸素もなくなる。風力発電が必要だとは思えません。使い捨ての発電は原発だけで十分ではありませんか？また海外のうまい口に騙され日本を実験場ににするのですか？	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。 風力は、枯渇することなく将来にわたって持続的に利用することができる再生可能なエネルギー資源です。また、風力発電の導入拡大によって二酸化炭素を排出しない環境に優しいエネルギーを創ることが可能になり、温室効果ガスの排出削減に取り組みながら、地域の活性化にも資することを目指しております。 法定の環境影響評価の評価項目以外についても専門家のヒアリング等を踏まえて井戸調査、水文調査なども実施する予定です。
34	断固反対です。風力発電所や太陽光パネルなどを設置した箇所で土砂崩れや水害が発生してるのは周知のとおりです。 これ以上、国土を傷付けないで頂きたい。計画を進めるのは市民の声を聞いてからにしてください。	事業計画の詳細検討に当たっては、水源かん養保安林及び土砂流出防備保安林等の指定状況や当該林分の現存状況等に留意し、関係機関等とも協議・調整し、必要な手続きを適切に進めながら、計画熟度を高めていく方針であり、極力既存林道を活用することで必要最低限の改変面積とする方針です。その上で、下流における土砂災害リスクを高めないように、関係機関と協議を実施し、適切な設計を検討してまいります。 環境影響評価手続きの中では、「土地の安定性」を項目として選定しており、準備書においてボーリング調査等の地質調査結果やそれに基づいた予測及び評価結果をお示しします。
35	他の施設の風力発電は止まっていることも多いと聞きます。環境破壊、費用対効果を考えても疑問が残ります。中止を望みます。	建設後は、当社グループで適切に保守メンテナンスを行うことで安定的な発電所の運営及び電力供給をできるように計画を検討してまいります。
36	率直に言います。健康被害に合いました。	電磁波については、国際的なガイドライン(国

	私は 5 年前迄淡路島の野島断層より半径 2 キロ以内で仕事（コンビニ経営）と住居がありました。 その風力発電の強力な電磁波のせいで私の母は右耳、突発性難聴になり今では右耳が全く聞こえません。私自身も風の強い日は目眩、立ちくらみ、偏頭痛等を引き起こしておりました。 風車が全く回らない日はそう言う症状が、全くありませんでした。 仕事の都合で徳島市に引っ越ししてからは偏頭痛等は無くなりました いくらエコでも人体に影響すると言う事は、「住んでいる人間の平穏な生活」をその人達から奪ってしまうと言うことです。 山を切り崩して建てるならエコではないですよね？得をするのは地主だけです。 建設後周辺の土地単価は当時物凄く下がった事もあります 今は、パソナの影響で地価は戻りつつありますが、その周辺の土地単価も下がると言う事はその人達の財産も奪うと言うことですよ？ お願いします。止めてください これ以上被害者増やしたくありません	際非電離放射線防護委員会_2010 年)によれば、200 マイクロテスラを規制値としております。一方、電力ケーブルを埋設することにより地表に発生する電界は 10 マイクロテスラ未満であると見込んでおりますので、ガイドラインと照らし合わせても人体への影響はないものと考えております。 また、事業実施区域における地形や山林の水源涵養機能の維持等を考慮したうえで、今後の現地調査を踏まえて適切な風車配置を検討してまいります。
37	山梨県北杜市も愚かな山林伐採からメガソーラーが開発されています。風力発電も酷く効率の悪く、自然を破壊するエネルギーを回収する事すらかなりの期間が掛かります。それよりも失われた自然が元の状態に戻るのに、一体どれくらいの年月が必要なのか！？ よく考えて下さい！！	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
38	自然を破壊して何が再生可能エネルギーですか？	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
39	万が一自然を破壊して起きる災害について責任を取ることを明確にしておくべき。やりっぱなしでかかる費用を上乗せする今のやり方はやめてください。	今後の調査を踏まえた設計や各種許認可の審査により自然災害や健康被害が起きることのないよう計画をしておりますが、万が一弊社が開発したことにより住民の皆様へ被害が発生した場合は責任をもって対策を講じ、生じた損害に対し、補償させていただく考えです。なお、本事業に伴う費用は事業者が負担いたします。
40	畑を耕し自然の力で作物を作っております。 健康被害や環境破壊が起こる可能性が見えているのであればやめていただきたい。街からこの地を選んで I ターンしてきたので 変わらず暮らせる環境を望みます。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
41	未来に繋げていく事業なのか、本当に必要だと思ってやっているのか。わたしはそう思わない。自然と共にありたい。	風力は、枯渇することなく将来にわたって永続的に利用することができる再生可能なエネルギー資源です。また、風力発電の導入拡大によ

		って二酸化炭素を排出しない環境に優しいエネルギーを創ることが可能になり、温室効果ガスの排出削減に取り組みながら、地域の活性化にも資することを目指しております。
42	風力発電設置で考えられる様々な問題と、実際に得られる電力やその他のことを天秤にかけたときに、貴重な税金を使つての設置が適切だとは思えません。 そもそも今回のお話のメリットはなんでしょうか。 メリットだけでなく、事業者さま、行政、住民それぞれのメリット・デメリットを考えられる限り出した上で改めて三者での検討が必要ではないでしょうか。 懸念が現実になったときに、そんなことだとは知らなかった、こんなことになるとは思わなかった、という関係者が後から続々と出てきては、お互いシンプルに困りませんか？ 電力が逼迫している状況も、設置に都合の良い大きい土地が山陰にあることもわかります。 ただ、実際に 1 番発電機の近くでその影響を受ける人間は近隣住民です。 どうするのが最適か、の検討がまだ必要なフェーズかと思えます。	本計画は民間事業のため税金を使うことはございません。 本事業のメリットにつきましては、地元貢献を検討しております。これまでの地元貢献の事例として、祭事・ボランティアへの参加、獣害対策事業への寄付、企業版ふるさと納税、発電所見学等様々な施策を実施しております。他にも「次世代を担う子供たちへの支援」をテーマに、奨学金の支給（高校生、高専生向け奨学金基金の設立）、ランドセル購入費用補助、再生可能エネルギーに関する学習コンテンツ付ノートの無償配布等を実施しております。上記に限らず地元特性にあった内容とするために、地元の皆様のご意見を参考に検討してまいります。 ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討し、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。
43	風力発電のために新たに自然破壊するのは反対です。 今、人の住む場所を利用してエネルギーを作ることはいらないのでしょうか。 何も使われていない山々の環境が地球を支えているのではないかと思うのです。 これ以上破壊してはならないと思います。	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
44	私は安来市広瀬町上山佐地区に 12 年前に移住してきました。風力発電所を安来市の山間部に作る計画を進めておられるようですが、使い捨ての風力発電は、私たちの地域にはいりません。風力発電所を作る作業は、自然エネルギーの名のもとに、あたかも自然を守るふりをして、まず山を壊す作業から始まります。20 年立った後、使い捨ての風車はどうされますか？その山のもとの自然を取り戻すことまでお考えでしょうか？風車の足元で暮らす私たちの日々の生活はどうなりますか？子どもたちの未来に何を残せますか？ご説明願います。	運転終了後は当社の費用及び責任において森林法に則り適切に原状回復を実施いたします。 なお、発電設備のリサイクル手法や廃棄物処理については、法令を遵守し適切に処理をいたします。
45	自然を破壊する風力発電は行うべきでは無い。	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
46	この度の風力発電事業は是非中止もしくは内容を考え直して頂きたいと思っております。せっかく自然豊かなこの場所に移住してきたのに、その自然の源である山を大きく切り崩して 200m 近くもある風車を 13 基も作るような計	風力発電機の基数について、現時点では最大数として 11 基と記載しておりますが、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・

	画というのは地域に必要ながあると思えないどころか健康被害・水質や生態系にも悪影響を及ぼすもので絶対に認め難いです。 被害が出ると言われている 5km 圏内には移住してきた我々だけでなく昔から先祖代々この地に住まれて来て文化や歴史を継承している素晴らしい方々も沢山おられ、そのような日本の宝を一時の利益のために破壊する行為は許せません。 また、我々を含め地域の皆さんには説明会があったことも殆ど周知されておらず、しかも直前の最低限の回覧などであったということで、地域住民の理解を得ることに全く努力をされない事業者の非常に一方的な、誠意のない姿勢を感じます。 地域住民の理解を得ず、目に見えて起こるであろう問題への対処についても言及せずにこのまま手続きだけを進めて計画を実行するというようなことは是非止めて頂きたいです。	低減する事業計画を検討してまいります。
47	風力発電を設置することで壊した環境と、再エネによる環境不可を比べる際、その他の発電と合わせた総合的な発電環境をみた時に、環境不可を減らせているのか？	環境省と国立環境研究所の発表では、2019 年度のエネルギー転換部門の CO₂ 排出量は 8,930 万トンであり、2013 年度と比べ 1,680 万トン（15.9%）減少したとしており、要因として、電力の低炭素化（再エネ拡大）を挙げていることから、環境負荷を低減しているものと考えます。
48	全国で設置されてから問題点が見つかっている今、わざわざ新規に設置する意味がわかりません。どうして遠く離れた島根県に設置するのですか？ 地元にはさして恩恵はない。 害は多くあれども。 出来てしまっからの元の自然は取り戻せない。 数十年とかかるでしょう。その年数今の企業の人員が責任をもち現状回復できますか？自然の回復、地元の営農含めた生活のすべてを。それができないのであればやめてくれ！ 建設計画のある地域すべての住民、普段はそこに暮らしていないが仏壇のあるすべての家々を周り説明をしたのか？そうでないなら形式だった説明会なぞなんの意味もない。 安来は我が家から遠く離れているが同じような山間部もあるだろう。 流行りの sdgs にのっからず目先の利権にのらないでくれ建設したい会社の皆様のご実家のそばにこれを建てる事が出来ますか？自身の親、祖父母の暮らす地にこれを建設できますか？ 日本人の心を取り戻してください私は風力発電には反対です	発電所の選定場所につきましては、NEDO の風況マップ等を参考にして風況の良好な場所であるか、社会インフラが整備されているか、法令許認可の制約条件、系統への連系が可能か等を考慮し選定しております。今後の環境影響評価手続きを通して、また、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、事業可能か検討してまいります。 また、発電所は事業期間終了後は現状回復する前提で必要な撤去費用を事前に積み立てて計画しており、植林・植樹の方法については法令に従い適切に実施いたします。 説明会については、合計 7 箇所で開催しており、事前に新聞広告・新聞折込みチラシ、および雲南市、安来市、松江市内全戸配布も実施し、広く周知しております。雲南市、安来市については市内放送、市の広報誌、雲南市についてはさらにテレビ CM も活用し広く周知致しました。周知方法については、今後、行政の関係部署等に相談のうえ、検討してまいります。 風力は、枯渇することなく将来にわたって永続的に利用することができる再生可能なエネルギー資源です。また、風力発電の導入拡大によって環境に優しいエネルギーを創ることが可

		能になるだけでなく、化石燃料の輸入に依存せずに我が国のエネルギー自給率を向上させることに貢献するものであります。
49	事業や計画について、住民に広く周知して下さい。そして、デメリットについても語って頂きたい。というか大型風車による風力発電は、騒音低周波音による健康被害・胎児への影親・動植物への影響・自然破壊・環境破壊・景観破壊・不安定発電・廃棄の先の問題等、メリットは何一つ無いと思われるのですが如何ですか？この事業で周辺住民にこういった話を正直にしていadakきたい。大切な島根県の森林国土をこんなに破壊してまで進める事業ばかりだが一体何が再エネなのか？2度と森林は再生しないですよ。とにかく詳細な説明会を広く細やかに行って下さい。それができないのなら事業は考え直して頂きたい。住民が納得しなければ誰のためにもなりません。	説明会の実施については、事前に新聞広告・新聞折込みチラシ、および雲南市、安来市、松江市内全戸配布も実施し、広く周知しております。雲南市、安来市については市内放送、市の広報誌、雲南市についてはさらにテレビCMも活用し広く周知致しました。周知方法については、今後、行政の関係部署等に相談のうえ、検討してまいります。 ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討し、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。
50	再エネはエコではありません。 自然という日本の財産を壊す悪魔です。その計画を企画、後押しするものも悪でしかありません。誰に得があるのか？エネルギーは何かの犠牲の上に成り立つ事が前提ですか？安住の地と移り住んで来た友人がいます。もし風力発電が出来たらもう住めないといひます。そんな残念な事ありません。どうかこんな計画を中止できませんか？日本中から自然が消えます。自然は財産です。酸素供給、生態系保持、防災、保水、景観。熱海の土砂崩れもソーラー畑が一因だったと聞きます。二の舞に島根県がなりません様に。日本がソーラーや風力だらけになりません様に。一度壊したら後戻り出来ません。目の前の利権に惑わされないでください。どうかどうか宜しくお願いします。私達の宝物を未来に引き継がせて下さい。	風力は、枯渇することなく将来にわたって永続的に利用することができる再生可能なエネルギー資源です。また、風力発電の導入拡大によって環境に優しいエネルギーを創ることが可能になるだけでなく、化石燃料の輸入に依存せずに我が国のエネルギー自給率を向上させることに貢献するものであります。 ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
51	コロナ禍でインフレがおこり、色入な物が高騰し生活がしづらくなっていますが、地球温暖化のために里山の自然を破壊し、風力発電を作ることに疑問を抱いております。 里山にある微風や水、土、鳥、虫などの自然物がその地域の里山には農産物をつくるにあたり必要ではないでしょうか。 この大自然の破壊は、お金では取り戻せません。 また、この風力発電が出来たとしても経年劣化により、いつかは産業廃棄物となりませんか？これは誰のお金で処理をするのでしょうか？ 雲南市と安来市はとても自然豊かで綺麗なところなので、生まれて育って来たところに、自然破壊をするものを作られても困ります。	撤去費については、事業者にて負担します。なお、計画においては環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
52	計画を聞いた時は、まさかこんなにも色々な懸念事項があるとは思っていませんでした。安全安心を脅かす恐れがあるものの計画はやめてください。 エネルギー源の確保も大事なこととは思いますが、命や健	風力は、枯渇することなく将来にわたって永続的に利用することができる再生可能なエネルギー資源です。また、風力発電の導入拡大によって環境に優しいエネルギーを創ることが可

	康、安心に勝るものではありません。 デメリットや各地での問題点・課題もしっかり伝えて、どう向き合おうとされているのかを教えてください。 住民の理解が不十分なまま、どんどん進めるということがないと、皆さんを信じています。	能になるだけでなく、化石燃料の輸入に依存せずに我が国のエネルギー自給率を向上させることに貢献するものであります。 ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
53	当事業について、 1 景観が悪くなるのでやめてほしい。あのエリアは今の状態であのエリアの良さがある。 2 建設後のメンテナンス費用はどこから捻出するのですか？自然の雨風雪に晒された巨大な風車のメンテナンス代金は5,000万円から1億円近くになるのでは？ 3 そもそも強風で止まり、無風で止まる風力発電が、市民にとって安定的な電力供給になるわけがない。どれだけの風力の保証があるのか？保証を下回った場合の補償はあるのか？ 4 事業者の倒産などで一切の責任を放棄する場合はあったらどうするの安来市は？ 5 騒音や低周波音による生態系への影響への配慮がなさすぎ。全国で反対運動が起こっているということは、そもそも風力発電が必要ないという意見も多いということ。税金支払っている市民を無視した計画続行はあり得ない。 6 風力発電を建設したことによる人体の健康への影響が見られた場合の「保証」「保障」「補償」を市がどう対応するのかを明らかにしていない事。 7 そもそもどのくらいの割合で地元の企業を使う気なのか？ 8 再生可能エネルギーっていう分野を推し進めようとするばするほど、本来第一に考えるべきこれまで先人が培ってきた地元の人たちの生活をぶち壊す流れのように思えて悲しい。この土地の良さを知らない都会の企業がこの土地に絡まないでほしい。	1. 住民の皆様が大切にされている景観に配慮した計画となるよう、引き続き住民の皆様や関係機関のご意見をお聞きしながら検討してまいります。 2. メンテナンス費用については、当社にて負担いたします。 3. 現在、計画予定地に風況観測塔を設置し、風況の観測および発電量予測を行っております。また、建設後は当社グループで適切に保守メンテナンスを行うことで、安定的な発電所の運営および電力供給をいたします。なお、本事業においては事業者の責任及び費用負担で事業を行うため、風況が想定を下回る場合などにおける補償はございません。 4. 本事業においては事業者の責任及び費用負担で事業を行うため、市に責任はございません。 5. 現状としては、風力発電機からの低周波音や騒音による生態系への影響が報告された事例は把握しておりません。影響が認められた場合は専門家等の意見を踏まえ環境保全措置を検討してまいります。 ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。 本事業は、民間事業であり市民の税金負担で行う事業ではございません。 6. 環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。 なお、本事業は民間事業ですので、事業者帰属となり、市からの補償はございません。 7. 弊社の他の発電所においては、建設工事や風車・変電設備の維持管理業務において地元企業にご協力いただいております。本件においても多様な業務において地元企業にご協力いただいております。その割合は現状では決まっております。

		せんが今後計画する中で決めてまいります。 8. 風力は、枯渇することなく将来にわたって永続的に利用することができる再生可能なエネルギー資源です。また、風力発電の導入拡大によって二酸化炭素を排出しない環境に優しいエネルギーを創ることが可能になり、温室効果ガスの排出削減に取り組みながら、地域の活性化にも資することを目指しております。
54	環境によくない	環境影響評価手続を通して、環境への影響を極力回避又は低減できるような事業計画を検討してまいります。
55	そもそも風力発電を山中に作ったとして、発電できるのか？風が無いと発電できないものを何故自然破壊をしてまで山中に作るのか？この事について聞きたい。 市長意見の中に「設置予定地から 0.9km 以内に住居が存在」とあるがこの点についてのお考えを聞きたい。島根県には、原発があります。 原発事故が万が一発生した場合、放射能により健康被害は免れないでしょう。 そのリスクと日々共存しているこの地域に、風力発電が作られた場合、低周波音による健康被害と言う 2 重のリスクがもたらされるのではないかと、非常に懸念しています。 風が無い限り風力による発電はできず、原発が稼働し続けます。 島根県には原発があります。市民として、これ以上の健康に関するリスクもまた、自然破壊によるリスク背負いたくありません。	発電所の選定場所につきましては、NEDO の風況マップ等を参考にして風況の良好な場所であるか、社会インフラが整備されているか、法令許認可の制約条件、系統への連系が可能か等を考慮し選定しております。今後の環境影響評価手続を通して、また、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、事業可能か検討してまいります。 なお、民家と風力発電機との間で必要な離隔距離につきましては、音の聞こえ方は単に距離だけではなく、地形、風向き等他の要因によっても異なってくるものと考えられるため、今後の現地調査では、事業実施区域から近い集落等を選定して現地調査地域の音環境の特性を把握したうえで風力発電機からの騒音の予測を行い、得られた予測結果を踏まえ、騒音や低周波音の影響を考慮した風力発電機の配置計画を検討してまいります。
56	土砂災害や健康被害の恐れがあり、生息生物への影響の恐れもある風力発電には反対です。自然を切り崩して得るエネルギーは自然に優しい環境エネルギーとはいえません。撤退を強く望みます。	事業計画の詳細検討に当たっては、水源かん養保安林及び土砂流出防備保安林等の指定状況や当該林分の現存状況等に留意し、関係機関等とも協議・調整し、必要な手続を適切に進めながら、計画熟度を高めていく方針であり、極力既存林道を活用することで必要最低限の改変面積とする方針です。その上で、下流における土砂災害リスクを高めないように、関係機関と協議を実施し、適切な設計を検討してまいります。 環境影響評価手続の中では、「土地の安定性」を項目として選定しており、準備書においてボーリング調査等の地質調査結果やそれに基づいた予測及び評価結果をお示しします。 健康被害においては、環境影響評価手続を通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
57	まずは市民、周辺地域全員がどういうものか知る権利があります。	今後も引き続き説明会や意見交換会を実施し、住民の皆様には事業概要をご説明し、ご不安とご

	しっかりと説明をして、住民と話しあった上で合意のもと進めるべきだと思います。説明会は何回も開催してほしいです。後で拗れて大変な事になった経験があります。市民がこの地で安心して暮らせる事が何より大切なんじゃないでしょうか。	懸念を払拭いただけるよう努めてまいります。
58	環境に良い事業を謳いながら、人体や生態系に多大なる悪影響を与える詐欺だと思っています。 1基設立で25億らしいですね。 何千本もの森林、自然を破壊する行為は止めて頂きたい。ドイツでも風力発電における低周波で問題になっています。御社の評判をネット等で調べさせて頂きました。 男尊女卑のあまり評判の良い会社ではなさそうですね。全く信頼おけません。 島根県では風力発電機を設置しなければならないくらい、電力不足は問題ではありません。いざとなれば原子力発電があります。 田舎を狙って事業を行うのは止めて頂きたい。どうせなら都会や人の住んでいない島などで行ってはいかがですか？	建設費については、現時点では計画の未確定要素が多いため非公表としておりますが、1基25億円ではございません。 確かに風力発電の建設において森林伐採を伴い、二酸化炭素が排出されますが、20年間の発電事業によって二酸化炭素を排出しないエネルギーが創出され、化石燃料による発電に比べて大幅に二酸化炭素の削減に貢献します。 なお、弊社において男尊女卑が問題となる事例はございません。 風力は、枯渇することなく将来にわたって永続的に利用することができる再生可能なエネルギー資源です。また、風力発電の導入拡大によって環境に優しいエネルギーを創ることが可能になるだけでなく、化石燃料の輸入に依存せずに我が国のエネルギー自給率を向上させることに貢献するものであります。従いまして、電力不足のため実施する事業ではございません。
59	日本をどうぞ守ってください。お願いします。	風力は、枯渇することなく将来にわたって永続的に利用することができる再生可能なエネルギー資源です。また、風力発電の導入拡大によって二酸化炭素を排出しない環境に優しいエネルギーを創ることが可能になり、温室効果ガスの排出削減に取り組みながら、地域の活性化にも資することを目指しております。
60	あんな効率の悪い発電止めるべきだ 効率の悪い上、音もうるさいとなるとそれを上回るメリットがあるように思えない	現在、計画地内に風況観測塔を設置し現地の風況を実測し、発電量の予測検討を行っております。また、建設後は当社グループで適切に保守メンテナンスを行うことで安定的な発電所の運営及び電力供給をできるよう計画いたします。 また、風力発電によって温室効果ガスを排出しない環境に優しいエネルギーを創ることが可能になり、国際社会の課題となっている地球温暖化問題に対応してまいります。
61	安来市は白鳥が多く飛来する場所ですが、大規模な風車を建設することで水源や地盤にも大きく影響を与えると考えられます。 森林、川、田んぼなどの農地は、上流から流れる水と密接に繋がっており、生き物への影響が大きいことに加え、音や振動に敏感な野生動物への低周波の影響も必ずあると考えられます。	濁水については、沈砂池を設置するといった濁水の流入に係る防止策を検討し、影響を極力回避又は低減するようにいたします。 なお、現状としては、風力発電機からの低周波音により、動物への影響が報告された事例は把握しておりません。影響が認められた場合は専門家等の意見を踏まえ環境保全措置を検討し

	今回の風力発電計画に反対です。	てまいります。
62	地域住民の理解、合意が取れない限り計画中止すべき。環境破壊、健康被害対策、撤去条件等を具体的、明確に示すこと。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響、撤去条件等につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討し、その内容を住民の皆様にご説明し、ご不安とご懸念を払拭いただけるよう努めてまいります。
63	風力発電は周辺の人や生物、環境への影態が大きい割に電力は不安定で効率も悪いです。島根県安来の地に禍根を残すことになるので絶対反対します。	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
64	この度の大型風力発電の設備には大きな疑問を感じております。 まず一つは再生可能エネルギーということですが、多様な生物や水資源など自然環境を破壊し、低周波による騒音は地域住民の睡眠障害などと多くの問題を持っています。安住の地として過ごしている地域住民に、救われない災難をもたらすのではないのでしょうか。 再生可能エネルギーが住民被害になっては本末転倒だと考えます。 次に、この再生可能エネルギーを謳う風力発電が、操業や紛争の安全上、及び核のゴミ問題についても解決のない原子力発電を止められないと聞いていますので、残念ながら建設の意義を感じられません。 よって、地域住民にとっては何の便益も感じられません。更に、風車については海外調達と聞いてますので、事故時の復旧工事の供給網が心配です。台風などの暴風により事故があった時に、復旧が困難になる可能性が高いと思います。使えない巨大風車が放置されるのではないかと懸念致します。	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。 2050年までに温室効果ガスを実質ゼロにし再生可能エネルギーの導入を拡大するという我が国の施策が進まなければ原子力等の他の電源でまかなうことになります。そのため、弊社では原子力よりも安全かつクリーンな再生可能エネルギーの普及・拡大を通して持続可能な社会創りに貢献していきます。 また、メンテナンス時には発電所の運転に必要な供給体制を風車メーカーと連携して整えてまいりますので、風車が設置後に放置されることはありません。
65	風力発電設備による人体への健康、環境への悪影響、生態系を崩すなどの害悪は既に確認されている。計画の中止を望みます。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
66	水源地の汚染の有無に関する事をもっと詳しい資料が見たい。工事及び油の流出など	弊社では、国内9箇所風力発電施設の運営をいたしておりますが、工事中、運転期間中の油の流出等や土壌汚染等を起こすような行為の事例は発生しておりません。今後も、そういった可能性の情報収集等を行い、弊社の風力発電施設の維持管理に役立て土壌汚染その他の未然防止に努めてまいります。
67	環境健康面だけでなく、経済効果も世界的に成功例のないので嘘八丁並べず建設を中止するべき。	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
68	大好きな山々と自然がそこにあります。どうか今の豊かさ	環境影響評価手続きを通して、環境への影響を極

	を奪わないでください	力回避又は低減できるような事業計画を検討してまいります。
69	害がある風力発電にお金をかけずに、他の安全な発電をお願いします。	環境影響評価を踏まえて、実施対象区域において本事業が適しているかどうかについて今後調査を実施してまいります。他の再エネ電源による発電所の設置も全国で検討してまいります。
70	景観を損ねるため、計画を中止してほしい	住民の皆様が大切にされている景観に配慮した計画となるよう、引き続き住民の皆様や関係機関のご意見をお聞きしながら検討してまいります。
71	調べれば調べるほど風力発電のデメリットの方が大きいです 環境のためを本当に思うなら、なぜ風力発電でなければならないのでしょうか？よくわかりません。風力発電には反対です。	生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。また、地元の皆様のご意見を参考に、地元特性にあった地元貢献策を検討してまいります。 風力は、枯渇することなく将来にわたって永続的に利用することができる再生可能なエネルギー資源です。また、風力発電の導入拡大によって二酸化炭素を排出しない環境に優しいエネルギーを創ることが可能になり、温室効果ガスの排出削減に取り組みながら、地域の活性化にも資することを目指しております。
72	風力発電の建設は反対です。 知らないうちに、建ってしまえば何も言えない、健康被害を訴えても気のせいだと言われてしまうのが目に見えています。 安来を始め、西伯郡でも予定されていると聞き今まで知らなかったの、それでは済まされないと思いました。 私は、南部町の自然が好きで子どもたちものんびり遊べる場所だと思い住み始めました。 きっと、安来市でもそのように魅力を感じ移り住んだ方や昔から住んでいる方沢山いらっしゃるのではと思います。 そんな自然豊かな土地を荒らすようなことはしてほしくありません。どうかこの計画がなくなりますよう、お願いします。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
73	新しいものを作る前に、やれることがまだまだあることを考えるべきではないでしょうか。使ってしまったら残ってしまう。風力発電が今まで作られた場所でどれだけ発電してどれだけ役に立ったのか、どれだけの被害が出たのか、客観的に見て県や市の利益の為でなく、県民市民にとって本当に大事なものか考えてほしい。将来を生きる子ども達に負担になるような物を残すべきではありません。	風力は、枯渇することなく将来にわたって永続的に利用することができる再生可能なエネルギー資源です。また、風力発電の導入拡大によって環境に優しいエネルギーを創ることが可能になるだけでなく、化石燃料の輸入に依存せずに我が国のエネルギー自給率を向上させることに貢献するものであります。
74	自然豊かなこの場所を壊さないでほしいです。	環境影響評価手続を通して、環境への影響を極力回避又は低減できるような事業計画を検討してまいります。

75	今、必要なのは電力ではなく、地域後継者です。企業としてこの地域に風力発電ではなく 1 人でもこの地域で力になる人材を送り込んでください。	弊社の他の発電所では建設時、メンテナンスにおいて地元企業を採用しており、雇用が創出されております。
76	私の望むエネルギーはここ島根の特性を活かし地元の皆さんで地域に寄り添ったエネルギーを作り地域で使うことを考えていくことです。 先祖代々守り継がれた山々を壊し、水源を危険に晒してまでエネルギーで金儲けをする御社に何一つ理解し寄り添えるところはありません。 説明会に何度も足を運びましたが上記の不安が何一つ払拭されことはありませんでした。 この地に風力発電は必要ありません。 どうか白紙撤回していただきますよう、重ねてお願い申し上げます。	今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。
77	原発と風力発電の挟み撃ちに位置する所に住んでいます。原発も要らない！大型風力発電設置も要らない！安心して暮らせる地域であることを強く望みます。この自然破壊の事業には強く反対します。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
78	事業者は利益を追求するものと理解しています。日本政府が再生可能エネルギーを推進している事も知っています。しかし、私たちの故郷であるこの地に風車を建設する事は絶対に反対です。 一般の生活者である私たちがお金の犠牲になり、安全な生活を失うことを認めるわけにはいきません。 風力発電の建設を断固反対します。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
79	今の自然豊かな生活を脅かされたら困ります。子孫に残せる大切なもの財産はこの地に先祖代々暮らして来て守って来た山々、農地です。 それを壊される事は許されません	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
80	人口も工場も少ない鳥取島根県に、風力発電が必要な理由がない。米栽培に重要な水が汚染されるリスクを危惧する。	発電所の選定場所につきましては、NEDO の風況マップ等を参考にして風況の良好な場所であるか、社会インフラが整備されているか、法令許認可の制約条件、系統への連系が可能か等を考慮し選定しております。今後の環境影響評価手続きを通して、また、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、事業可能か検討してまいります。 また、風力発電によって温室効果ガスを排出しない環境に優しいエネルギーを創ることが可能になり、国際社会の課題となっている地球温暖化問題に対応してまいります。
81	大切な人達がそこで農を営み、自然と共存しながら静かに住まわれている場所です。どうかそっとしておいて下さい。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
82	これだけ大事な事を事業所に勧められて行政の判断で決	今後もし引き続き説明会や意見交換会を実施し、

	めないでください。 市民に広く周知出来るよう、粘り強く何度も説明会を開いてください。 まだ何も知らない市民のほうが多いはずです。 その際、メリットだけでなくデメリットもありのまま教えてください。 お願いします。	住民の皆様には事業概要をご説明し、ご不安とご懸念を払拭いただけるよう努めてまいります。 説明会等の周知方法については、今後、行政の関係部署等に相談のうえ、検討してまいります。
83	安来市出身者として、風力発電設置に強く反対します。太陽光パネルを始め、再エネ事業という名の環境破壊は全国的に問題になっていますが、その土地に住む人々が守ってきた豊かな自然を破壊し、住民にとって全くメリットのない風力発電を設置するなど話になりません。住民はリスクだけを負い、その土地の資源を利用して得た利益は事業者に流れる。これを推進する意味が全くわかりませんし、即刻白紙撤回すべきと考えます。反対の声を大きくして議員や市長に対して声を届け、行政を動かす必要があると感じます。	本事業のメリットにつきましては、地元貢献を検討しております。これまでの事例として、祭事・ボランティアへの参加、獣害対策事業への寄付、企業版ふるさと納税、発電所見学等様々な施策を実施しております。他にも「次世代を担う子供たちへの支援」をテーマに、奨学金の支給（高校生、高専生向け奨学基金の設立）、ランドセル購入費用補助、再生可能エネルギーに関する学習コンテンツ付ノートの無償配布等を実施しております。上記に限らず地元特性にあった内容とするために、地元の皆様のご意見を参考に検討してまいります。 本事業を実施するにあたり、生活環境への影響、動植物への影響、工事による周辺地域への影響が想定されますが、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。 風力は、枯渇することなく将来にわたって持続的に利用することができる再生可能なエネルギー資源です。また、風力発電の導入拡大によって二酸化炭素を排出しない環境に優しいエネルギーを創ることが可能になり、温室効果ガスの排出削減に取り組みながら、地域の活性化にも資することを目指しております。
84	日向山、大出日山に風力発電は要りません。 ①風力発電を作らず既存の発電所（火力、原子力等）を動かし電力を作れば良い。 ②風車建設に伴いどれほど自然破壊されるか分からない。 ③自然破壊、健康被害、風車の維持等責任の所在がよく分からない。特に建設後です。 ④事業者の不誠実さ（住民が理解・納得できる説明をしない、調査が不十分等）。以上が主な理由です。 作って放ったらかしになりかねない風力発電事業に賛成なんかできません。破壊された自然は戻りません。健康被害が起こっても責任を取る者がいないかもしれない、そんな理不尽な事が起こってはなりません。事業の白紙撤回を求めます。	①②について、 2050年までに温室効果ガスを実質ゼロにし再生可能エネルギーの導入を拡大するという我が国の施策が進まなければ原子力等の他の電源でまかなうことになります。そのため、弊社では原子力よりも安全かつクリーンな再生可能エネルギーの普及・拡大を通して持続可能な社会創りに貢献していきます。 ③④について、 環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
85	建設することだけではなく、その後の各方面への影響ややがて何年か後にくる使えなくなった時のことまで充分に考えて計画をたてて欲しいので現状では絶対反対します。	建設後は、当社グループで適切に保守メンテナンスを行うことで安定的な発電所の運営及び電力供給をできるように計画を検討してまい

		ります。各方面への影響についても事業計画に盛り込めるように検討してまいります。
86	生き物や自然に良くない影響があるものには反対です。	環境影響評価手続を通して、環境への影響を極力回避又は低減できるような事業計画を検討してまいります。
87	こんなもんいらんわ〜。鳥も来なくなるわ。それに山の中に建てる所ないがん。山崩すのやめてよ。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
88	わたしたちの生命にとって大切な自然を破壊してまでやることなのか。今しか見ないエゴを感じ、疑問が生じます。別の道を選んでください。と言いたいです。	日本全体の観点では、地球温暖化問題に対応していくことは国際社会においても現在の最重要課題の一つであり、我が国の施策、行政・まちづくりにおいても、温室効果ガスの排出削減に取り組むことは喫緊の課題とされています。本事業は、この課題に取り組みながら、地域の活性化にも資することを目指して推進しようとするものです。
89	同じ島根県民として、近隣住民の方への不安を明確に取り除く説明をすること、エネルギー供給も大切ですが、不安なく今までの暮らしができる最善の策を探っていくことは必須だと思います。	今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行い、ご不安とご懸念を払拭いただけるよう努めてまいります。
90	私は長年微生物を研究している者です 山の自然の生態系は一旦破壊されると人間に修復する事は困難です 山林は主に土中微生物によって草木や昆虫や動物と共に共生関係を築いています 山を切り崩すとそれらは人間の今の化学力では修復不可能ですがそれについてはどう対処するつもりなのか？ 土質、水質、菌根菌、昆虫、野鳥、植物、動物達を開発後の様にいつ迄に復元するのか科学的根拠に基き個別に説明してください	事業実施による改変は最小限とし、自然環境への影響に配慮した工事計画を検討してまいります。 開発後の計画は未定ではありますが、復元について科学的根拠については知見が少ないため、専門家等の意見を踏まえ、可能な限り復元できるような計画を検討してまいります。
91	防衛面でレーダーの障壁になると防衛庁のホームページにも載っていますが国防を妨げてまで必要な事業ですか？ 電力の過剰供給による出力制御が急増しているという話を聞いていますがこれ以上の電力供給をしてなんのメリットがあるのですか？ 温暖化ガス削減と言われますが、地球温暖化と言う表現から異常気象と言う表現に変わりました。それは逆に寒冷化している地域もあるからです。 2050年までのカーボンニュートラルなどと言う目標は一部の権力者の利権の為でありでたらめである事を国民に伝えなければならないと思います。 私達一般市民は電気料金の度重なる値上げで生活に困っています。売電される事業者の方は利益が出て良いですが電気を買って生活している私達は再エネ賦課金がまた課	対象事業実施区域における防衛省のレーダーについては支障がないことの確認が取れていますので、防衛面についてはご安心ください。 風力は、枯渇することなく将来にわたって永続的に利用することができる再生可能なエネルギー資源です。また、風力発電の導入拡大によって環境に優しいエネルギーを創ることが可能になるだけでなく、化石燃料の輸入に依存せず我が国のエネルギー自給率を向上させ、高騰している電気代も下がることに貢献するものであります。

	金されればますます生活は苦しくなります。風力発電は本当に必要なのでしょうか。	
92	人間中心の考えでは必要な事業と思われがちですが、人間以外の生き物（草木、虫、動物たち）のことも含めてトータルで考えると私は反対です。	日本全体の観点では、地球温暖化問題に対応していくことは国際社会においても現在の最重要課題の一つであり、我が国の施策、行政・まちづくりにおいても、温室効果ガスの排出削減に取り組むことは喫緊の課題とされています。本事業は、この課題に取り組みながら、地域の活性化にも資することを目指して推進しようとするものです。
93	島根県は父親の出身地で、第二の故郷です。色々と事情はあるでしょうが、どうか目先の利益に惑わされず、素晴らしい景観の保全をお願いします。	住民の皆様が大切にされている景観に配慮した計画となるよう、引き続き住民の皆様や関係機関のご意見をお聞きしながら検討してまいります。
94	風力発電のための風車の設置にとっても不安を覚えます。地震や台風の多い我が国で、あのような背の高く重たい建造物を、山を切り崩して建てるというのは、自然と人間の住宅地、また鳥類が安心して住む住処を奪うことになると思っています。 いつ吹くかわからない風に頼る風力発電に、自然を破壊し、住民の安心安全を奪ってまで建てるほどの発電効果があるとは思えません。 島根は、日本の由緒正しい出雲大社のある神様の土地です。どうか、神様の宿る自然を破壊し、罰当たりな再エネを推進することをやめて下さい。	日本全体の観点では、地球温暖化問題に対応していくことは国際社会においても現在の最重要課題の一つであり、我が国の施策、行政・まちづくりにおいても、温室効果ガスの排出削減に取り組むことは喫緊の課題とされています。本事業は、この課題に取り組みながら、地域の活性化にも資することを目指して推進しようとするものです。
95	山登りが大好きです。その度に悲しい気持ちになります。不安定な風力発電の為に山を切り崩すのなら原発を再開した方が良い。こんなパカな政策は絶対にやめて頂きたい。	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
96	風力発電は、不安定な電力発電であり、且つ電気代を上げてしまいます。建設に反対します。	風力は、枯渇することなく将来にわたって永続的に利用することができる再生可能なエネルギー資源です。また、風力発電の導入拡大によって環境に優しいエネルギーを創ることが可能になるだけでなく、化石燃料の輸入に依存せず我が国のエネルギー自給率を向上させ、高騰している電気代も下がることに貢献するものであります。
97	風力発電計画に反対します。 風力発電所には低周波の問題もあり、地図を見るとその影響範囲内には地域の交流センターや学校、こども園も含まれます。一時的なものならとにかく、常に低周波にさらされ続けるというのは耐え難い苦痛ではないのでしょうか。 またコロナ禍にあっても、令和3年における島根県の観光客は2000万人を超えており、これらの観光客の多くは神話やそれを支える豊かな自然を求めてきているのではないのでしょうか。せっかく島根県まで来て出雲神話の源流に触れながらも、山に風力発電が建っているのは台無しであり、観光客もいい気はしないでしょう。これは単純に気分	低周波音への影響については、今後、現地で環境調査を実施し、適切に予測及び評価を行ったうえで配置検討をし、低周波音による被害が生じないように配慮した事業計画としてまいります。 また、わが国では2050年までに温室効果ガスを実質ゼロにするための取組を推進しており、風力発電をはじめとする再生可能エネルギーの導入を拡大する目標が織り込まれています。弊社では安全かつクリーンな再生可能エネルギーの普及・拡大を通して持続可能な社会創り

	の問題ではなく島根県の観光収入の減少にも繋がる問題だと思います。 そもそもなぜ今更山を切り開いて風力発電を設置する必要があるのでしょうか？最近では浮体式風力発電所というものも出ており政府もこれを進める方針です。これは沖合に浮かべた船の上に風力発電を建てるというものであり、これならば環境破壊や水質汚染、低周波の影響を受ける住民もいないし、船は天然の魚礁となり漁獲高の向上も見込めます。それに海底に設置してるわけではないので、いざとなれば動かせるというメリットもあります。バードストライクの問題は残りますが、それでも山に建てるより遥かにいいでしょう。 そもそも島根原発が再稼働すれば風力発電所も不要と思われそうですが、それでも風力発電所が必要な理由があるのならば、多くの住民の反感を買い後々に問題を引き起こす風力発電所を建て、行政がその責任を負う可能性を考えれば、こちらの浮体式風力発電の方に切り替えるべきだと考えます。	に貢献していきます。
98	単に景観が悪くだけでなく、騒音による人体に対する悪影響・自然破壊にもつながる風力発電。自然に優しいという美名のもとそのデメリットはほとんど明示しない、されないこのような「エコ」活動には近年目に余るものがあります。住民の納得が得られないままに進められるこの事業に対し不信感しかありません。事業者は誠意ある対応を示す必要があります。このまま住民の声を無視し事業を進めることは、絶対やめるべきかと思えます。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討し、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。
99	山の環境は海、他の環境にも関係しています。やめて欲しいです。	環境影響評価手続を通して、環境への影響を極力回避又は低減できるような事業計画を検討してまいります。
100	過去にも1度意見を投稿しましたが、2023年4月22日の松江市での説明会に参加しましたが、時間切れで質問できなかったの、質問をお伝えさせてください。 現在、JREさんが運営されている風力発電所で、1番長い発電所が九州にあり、6-7年経過していると伺いました。そして稼働後一年以上立った際の事後報告をされると聞きました。 その、事後調査で周辺住民の方への健康被害や、環境変化がないと言い切られました。 そのご意見を受けて質問です。 質問項目 1)その事後報告はいつの期間の調査でしょうか？ 2)また、経年による変化の有無も追跡されるのでしょうか？ 3)また、その事後報告書は、どこで閲覧できますか？ お応えいただけたら、と思います。	1)調査期間は下記になります。 バードストライク：平成28年12月～平成29年11月 クマタカ生息状況：平成28年12月～平成29年8月 騒音・低周波音：平成29年7月12～13日、11月14～15日 植物移植確認：平成26年6月～平成28年10月 2)経年による変化の有無は追跡しておりません。 3)平成30年11月12日～12月11日まで縦覧しています。
101	絶対、反対です。設置するにあたり自然破壊があり一度壊れたら元に戻らない。	環境影響評価手続を通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、

		環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
102	作ってしまってから、後悔しても遅いです。貴重な日本の自然、風景、文化、人や動物の健康を破壊しないだと思います。	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
103	中海の水質汚染に被害がでる可能性がある	工事中に発生する濁水については、降雨時の雨水が一カ所に集中しないように分散排水とし、沈砂池による濁水対策を実施いたします。また、環境影響評価の準備書において、沈砂池からの排水到達距離を予測し、沈砂池からの排水が河川へ直接流入しないような計画とします。
104	仕事の傍ら、古代出雲王国史について、研究しています。今回の風力発電建設に関しては、想定される自然・生態系への悪影響も重大ですが、古代出雲の神域を破壊することにも繋がり、我々の祖先に対する敬意を大きく欠いた、取り返しのつかない破壊に繋がると考えられます。再エネの普及も現代人の課題ですが、この地域への建設はあまりにも歴史への無知、祖先への敬意を欠いた行いになると思います。	歴史的価値や埋蔵文化財について地方自治体の担当部署や専門家等にヒアリングを行い、それらに配慮した事業計画を検討してまいります。
105	住民が少しでも不安があるのなら、作るべきではない。	今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行い、ご不安とご懸念を払拭いただけるよう努めてまいります。
106	地域の貴重な水源地である山を切り開いて風力発電をやることには断固反対します！ 自然エネルギーを作るのに大規模に自然を破壊するなど普通に考えればおかしいでしょう。計画撤回をしてください	風力発電機の設置に伴う水源（地下水及び河川流水）への影響について、地下水につきましては、今後、環境影響評価法の項目とは別に専門家ヒアリングや、利用状況及び位置を把握し、水利用されている井戸等において湧水量や水質の調査を行う予定です。また、河川流水の水質については、環境影響評価の中で、沈砂池排水の到達距離を予測し、河川に直接流入しないような工事計画を検討し、水質への影響を極力回避又は低減できるような計画に努めてまいります。なお、調査及び予測及び評価の結果につきましては準備書にてお示しさせていただくとともに、方法書同様に説明会にてご説明させていただきます。
107	風力発電はリスクが大きすぎです。 巨大な設備を設置するために木を切り倒し、山を崩し、掘り返し、基礎工事をして設置する、メンテナンス、最後の廃棄のことまで考えたら生み出す電力が人々に与える恩恵が低すぎる。無くす自然が多すぎる。	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
108	自然環境の破壊に繋がり、そこに住む人々への人体への影響を考えてください。事業者の方は風力発電がある場所に住みたいですか？	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。

109	私たち人間の生活と、自然の杜両方の守り方を、今一度考えて欲しい。	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
110	風力発電は反対です。 コストも高い割に発電力も低く、環境に悪いものをあたらしく設置する必要はありません。	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
111	デメリットが多すぎるので断固反対します	生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。 また、地元の皆様のご意見を参考に、地元特性にあった地元貢献策を検討してまいります。
112	絶対、反対です。設置するにあたり自然破壊があり一度壊れたら元に戻らない。	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
113	風力発電による健康被害についての考慮としてどのような案をお考えですか？	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
114	水源に大きな建物を作り、自然を壊すことを止めてください。	風力発電機の設置に伴う水源（地下水及び河川流水）への影響について、地下水につきましては、今後、環境影響評価法の項目とは別に専門家ヒアリングや、利用状況及び位置を把握し、水利用されている井戸等において湧水量や水質の調査を行う予定です。また、河川流水の水質については、環境影響評価の中で、沈砂池排水の到達距離を予測し、河川に直接流入しないような工事計画を検討し、水質への影響を極力回避又は低減できるような計画に努めてまいります。なお、調査及び予測及び評価の結果につきましては準備書にてお示しさせていただくとともに、方法書同様に説明会にてご説明させていただきます。
115	この風力発電のエネルギー効率を正確に教えて下さい。このエネルギーにより自然破壊のデータも正確に示して下さい。風力発電は決してエネルギー効率の高いものではありません。設置場所の風力エネルギーと環境破壊エネルギーの比較をしつかりやって下さい。本当に必要ですか？	環境省と国立環境研究所の発表では、2019年度のエネルギー転換部門のCO ₂ 排出量は8,930万トンであり、2013年度と比べ1,680万トン（15.9%）減少したとしており、要因として、電力の低炭素化（再エネ拡大）を挙げていることから、環境負荷を低減しているものと考えます。
116	まず貴社の皆様が日頃より「持続可能な発展に貢献する」ために尽力されておられることについて御礼申し上げます。	今後実施する現地調査結果を踏まえて、本事業の実施に伴う環境影響の予測並びに評価結果を準備書において記載いたします。予測結果を

	しかしながら、風力発電が本当の意味で持続可能かどうか、地域住民とその他全国からの提言を以って今一度考え直していただきたくこの度ご意見を送ることといたしました。 御存知かとは思いますが、風力発電にはメリットと共にデメリットもございます。 まず環境への問題です。 風力発電の設置工事、山林環境を破壊し、水脈を汚し、そこに住む生態系の秩序を乱し、山の麓のみならずその先の平野にまで影響を及ぼします。 当たり前のことですが人間は人間だけの力で生活をしている訳ではなく、自然の力を借りて共存してきましたので、「持続可能な社会の実現のため」に行っている事業が「持続不可能な社会」を創り出す一因にならないと完全に否定することはできないかと思えます。 次に、風力発電そのものが生み出す騒音・低周波についての問題です。 既に各地で風力発電の稼働音による騒音問題は起こっておりますし、日本では認められていないものの各国で電界・磁界について制限が設けられていることが事実です。こういった健康被害の可能性を否定しきれない状態で風力発電を強行するのはいかがなものかと存じます。他にも耐用年数の問題や、得られる電力や減らせる二酸化炭素よりも工事に伴い放出する二酸化炭素の量の方が多かったり、色々と問題点はあるかと存じます。 貴社は株式会社であるため利益の追求をしなければ成り立たないことも存じ上げておりますが、目先の利益を重視して未来に負債を残すことは大人として如何なものかと思えます。 素人が浅い知識で意見をし恐縮ではございますが、改めて風力発電について貴社内で勉強いただき、本当にリスクが限りなく低い状態でリワードを得ることができるのか考え直して欲しいと強く願います。 また今回の設置については近隣住民の声を蔑ろにし、貴社の利益のみ追求することのないよう、一度計画を中断していただきたく存じます。 何卒よろしく願い申し上げます。	踏まえて環境保全措置を記載し、住民の皆様及び環境への影響を可能な限り低減させる計画を検討してまいります。 風力発電機から発生する騒音の影響については、「風力発電施設から発生する騒音に関する指針」（環境省、平成29年）に基づき、地域の残留騒音に沿った指針値で評価いたします。その上で、風力発電機の配置計画等、施設の稼働による騒音に関する影響が回避又は低減出来る計画を検討してまいります。 電気を送っている送電線などの電力設備のまわりにおける電磁波の大きさは、送電線の直下の地上1mにおいて、最大でも200mG（ミリガウス）程度であるとされています。 これは家庭用電化製品から発生している電磁波とほぼ同じ大きさであり、健康には支障のないレベルとなっております。 また、風力発電の建設において森林伐採を伴い、二酸化炭素が排出されますが、20年間の発電事業によって二酸化炭素を排出しないエネルギーが創出され、事業全体としては森林伐採に比べて大幅に二酸化炭素の削減に貢献します。
117	山を切り崩してまで人間の生活を便利にする必要はこれ以上はないのではないか。	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
118	環境に負荷をかけない、フリーエネルギーを実際して頂きたいです	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
119	人や環境についてどのように考えておられますか？	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果

		をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
120	良いことだけではなく、被害も調査されているんでしょうか	環境に関する事後調査において、当社の運転開始済みの発電所において近隣住民の方にアンケートをお配りし回答を頂いております。万が一、発電所近くで音の影響がするなどのお声が上がった際には、騒音計等で事後調査を行い、発電所に起因するもので弊社に帰責性があれば真摯に対応をさせていただきます。また、法令においても事後調査結果は公表されるものです。
121	健康被害、里山被害について説明していただきたい	今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。
122	太陽光パネルがいいと思います。風力発電だと白鳥などがいなくなり、白鳥目当てに来る方が写真を撮れなくて悲しくなってしまうから。これは9歳の意見です。	今後の環境影響評価において、ハクチョウについても適切に調査、予測及び評価を実施し、影響が懸念される場合は環境保全措置を検討してまいります。
123	水質悪化の懸念、自然破壊、健康被害、色々な不安があります。	今後実施する現地調査結果を踏まえて、本事業の実施に伴う騒音や低周波音、水質、動物、植物、生態系などへの影響の予測並びに評価結果を準備書において記載いたします。予測結果を踏まえて環境保全措置を記載し、住民の皆様及び環境への影響を可能な限り低減させる計画を検討してまいります。
124	前回一度提出しましたが、まだまだあるので書かせていただきます。 この地域は、老朽化したダムがあります。 音叉で、共振共鳴というのがありますが、こんな水とコンクリート、木を切った後の地盤の弱い所にこんなに沢山風力発電基を建てて、微振動でずっと揺れた状態だと、ダムが決壊する恐れも出てきます。 大切な命の水が供給さるない他、市街地に水害が起これば、どなたか責任取れるのでしょうか。少しでも想像力があれば、今一度考えていただきたく思います。	風力発電機は、法令および第三者機関による厳しい審査に基づき基礎を設計し、その上に固定されております。従って、風力発電機の設置により大きな振動が遠くまで伝搬することではなく、ご指摘の微振動が頑強に作られたダムの決壊につながるようなことはないと考えております。
125	この風力発電の計画を進めて、自然災害や健康被害が起きた場合、保証できるのか？ その場合、何をどんな風に、どこまで保証できるのか？ この計画を進める上でのリスクについて、どれだけ想定しているのか具体的な内容を知りたい。	今後の調査を踏まえた設計や各種許認可の審査により自然災害や健康被害が起きることのないよう計画をしておりますが、万が一弊社が開発したことにより住民の皆様へ被害が発生した場合は責任をもって対策を講じ、生じた損害に対し、補償させていただく考えです。
126	年々天災の被害が大きくなっている現状で、昨年来安市でも大雨による水害が起こっています。今回の風力発電建設により天災被害も拡大するのではないのでしょうか。	事業計画の詳細検討に当たっては、水源かん養保安林及び土砂流出防備保安林等の指定状況や当該林分の現存状況等に留意し、関係機関等とも協議・調整し、必要な手続きを適切に進めながら、計画熟度を高めていく方針であり、極力既存林道を活用することで必要最低限の区

		域の保安林指定解除とする方針です。 なお、再生可能エネルギーの普及により温室効果ガスの排出削減に取り組み地球温暖化問題に対応していくことで長期的な天災軽減に寄与できるものと考えております。
127	自社の利益を優先して、住民や動植物に対し軽く考えているように思える	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
128	問題視されている事項も、市民に伝えてほしい	生活環境や自然環境等への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討し、専門家等のご意見を踏まえ、準備書以降の図書に記載いたします。
129	風力発電の計画、実施による人体や野生動物、環境への悪影響は当然ながら、もっとも気になっていることがあります。それは、発電の機能としての価値が低いことです。日本という土地柄には不向きだと言われており、かつ環境被害も懸念されるものを積極的に導入する意義が分かりません。	現在、計画地内に風況観測塔を設置し現地の風況を実測し、発電量の予測検討を行っております。また、建設後は当社グループで適切に保守メンテナンスを行うことで安定的な発電所の運営及び電力供給をできるよう計画を検討してまいります。 環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
130	自然を守りたい	環境影響評価手続きを通して、環境への影響を極力回避又は低減できるような事業計画を検討してまいります。
131	再エネはこれからの将来にとっても大切なことだとは思っています。 ですが、このような大きな風力発電をつくり、周辺住民の健康被害、災害、水質汚染など、デメリットが大きすぎ、計画をやめていただきたい。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討し、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。
132	大規模な開発を行うことにより、道路建設、樹木伐採などにより山自体の保水力が低下するため短時間で河川に流れ込み洪水の発生が考えられる。現在においても耕作放棄等による保水力の低下が見られ特にダムのない伯太川水系は短時間降水量の多い場合に水位の急上昇が見られる、今回の開発行為により洪水の危険性が顕著に表れると思われるこの点の環境評価は如何なされるのか、開発周辺部のみでなく安来市下流部までに影響はあると思われる 風力はノーCO2と言われるが製造から廃棄、設置場所の環境破壊、周辺部の悪影響を考えると慎重であるべき山林開発における洪水防止の貯水装置などは設けられるのか？先進地 四国山地の状況をもっと見るべき。資材運搬道路は壊れたまま、斜面崩壊なども放置されている	風力発電機設置に伴う森林伐採面積については、関係機関等と協議・調整し、また、必要な手続きを適切に履行しながら、山の保水力を低減しないように設計する方針です。 なお、本事業に伴う樹木伐採や事業地の裸地化に起因する保水能力低下や濁水流出の対策として、必要な場所に適正な規模規格の沈砂池等、森林機能代替施設を整備する方針としております。既存の当社発電所においては当社グループにて運転後の管理をおこなっており、斜面崩壊を放置している状況はございません。

	設置後も状態維持をされるかも関心を持つべき	
133	これから人口が減っていくのだから、必要ない	今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。
134	不安が沢山あります。自然エネルギーだから良いと思っていたけど今からでも中止にしていいただけるように願っています。	今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。
135	とても大きな物を、多数建てる必要があるのはなぜですか？電力がきちんと使用できるには、何キロワット発生すればいいのですか？ 山を切り崩し、土砂災害、野生動物への被害が心配です。動物達の居場所が無くなり、街へ出てくるのでは？立つことで、良いことがあるとはとても思えません。	風力発電機の基数について、現時点では最大数として11基と記載しておりますが、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
136	メリットよりも不安の方が大きいので反対です。	今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行い、ご不安とご懸念を払拭いただけるよう努めてまいります。
137	自然環境を壊せば必ず自分たちに良くない事象で跳ね返ってきます。建設の前に、まずは無駄にエネルギーを使用していないかという所を改善していく必要があると思います。	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
138	今まで何千年とかけて、ご先祖様が未来の子供達やいきもの達のために残して守って下さった大切な自然を、目先の視野が狭い範囲の事だけで壊さないで下さい！ 自然の方を再生する方が、100年以上の単位で時間がかかるかります！ 都市部の人達だけで決めるのはやめていただきたいです。	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
139	時間をかけて丁寧な説明、特に高齢者にも分かりやすく説明をしていただきたい。良い事だけを並べるのではなく、リスクの部分もきちんと説明して頂きたい。	今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行い、ご不安とご懸念を払拭いただけるよう努めてまいります。
140	そもそもなぜ島根県だったのか？ 安定した電力が確保できると言いきれるのか？	発電所の選定場所につきましては、NEDOの風況マップ等を参考にして風況の良好な場所であるか、社会インフラが整備されているか、法令許認可の制約条件、系統への連系が可能な等を考慮し選定しております。今後の環境影響評価手続きを通して、また、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、事業可能か検討してまいります。 現在、計画地内に風況観測塔を設置し現地の風況を実測し、発電量の予測検討を行っております。また、建設後は当社グループで適切に保守メンテナンスを行うことで安定的な発電所の運営及び電力供給をできるよう計画を検討してまいります。
141	大出日山、日向山に計画されている風力発電は私の住む地	方法書において、大出日山風力発電事業、日向

	域では両方の影響を受ける可能性があります。大規模な風力発電になれば予想よりも広範囲に影響を及ぼすのではないかと想像出来ます。人間だけでなく動物の住環境も破壊されて取り返しのつかない結果を招くと感じられます。この巨大風力発電計画には反対します。	山風力発電事業の複合的な影響に関する環境影響評価の項目として、動物及び景観について選定しております。騒音及び低周波音については、「(仮称) 大出日山風力発電事業」とは10km以上の十分な離隔があり、両事業の影響は重複が考えられないため非選定としております。
142	島根県に限らず、小さな日本の貴重とされる自然が崩れていくことに疑念をもちます。	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
143	風力発電を建てた結果、どれだけの人が苦しんで生活しているか、生態系にも大きく作用します。南オーストラリア等の風力発電を作った後、人々の生活に影響が出て裁判にも発展しています。こういった過去の経験を考慮に入れ建設計画を考え直して頂きたい。	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
144	風力発電を建てる事で、その地域にどのようなメリット、デメリットがあるか、ちゃんと明確にして地域の方々に伝えて欲しい。 近隣住民への説明会の告知や内容が十分であったかが謎。私も説明会後にそれがあったのを知った一人です。このように知る人だけ知って進めるやり方は良くないのではと思います。	説明会の実施については、事前に新聞広告・新聞折込みチラシ、および雲南市、安来市、松江市内全戸配布も実施し、広く周知しております。雲南市、安来市については市内放送、市の広報誌、雲南市についてはさらにテレビCMも活用し広く周知致しました。周知方法については、今後、行政の関係部署等に相談のうえ、検討してまいります。
145	健康、環境への被害の大きさを考えると受け入れることはできない。 美しい安来の自然を壊さないで頂きたい。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
146	・ どうして風力発電をこの自然豊かな地域に計画されるのか教えてください。 ・ 自然と優しい、自然を大切に暮らしている地域に作る必要性がわかりません。どんなメリットがありますか？ ・ 風力発電をすることによって CO2 削減に貢献できるのですか？作るにより原子力発電を止めることは可能ですか？ ・ 建設、メンテナンスなど、雇用が増えて地域が活性化できますか？ ・ 故障中でもメンテナンスが間に合わず、動いていない風車があると聞いた事がありますが、メンテナンスはどのように行われるのですか？ ・ 事業期間 20 年を過ぎたらどうなりますか？ 撤去、撤退される可能性もありますか？安来市に一基あった風車は撤去されました。撤去になった場合は森は元に戻していただけますか？住む場所を失ってなくなった動物などは戻ってきますか？ 撤去された本体、部品はどうされますか？ゴミになるのですか？どこにいくのですか？	・ 発電所の選定場所につきましては、NEDO の風況マップ等を参考にして風況の良好な場所であるか、社会インフラが整備されているか、法令許認可の制約条件、系統への連系が可能か等を考慮し選定しております。今後の環境影響評価手続きを通して、また、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、事業可能か検討してまいります。 ・ 2050 年までに温室効果ガスを実質ゼロにし再生可能エネルギーの導入を拡大するという我が国の施策が進まなければ原子力等の他の電源でまかなうことになります。そのため、弊社では原子力よりも安全かつクリーンな再生可能エネルギーの普及・拡大を通して持続可能な社会創りに貢献してまいります。 ・ 弊社の他の発電所では建設時、メンテナンスにおいて地元企業を採用しており、雇用が創出されております。 ・ 建設後は、当社グループで適切に保守メンテナンスを行うことで安定的な発電所の運営及

		び電力供給をできるように計画を検討してまいります。 ・本事業については固定価格買取制度を利用し、事業を予定しており制度上 20 年の売電期間を前提とした計画としており、撤去後は森林法に則り適切に現状復帰を行います。なお、法制度も変化しており、電力の小売りを出来るようになったため、地元住民の皆様のご理解を得た上で固定価格買取制度に則らない売電方法や 20 年後以降も事業を継続できる方法を検討してまいります。 風力発電設備のリサイクル手法や廃棄物処理については、法令を遵守し適切に処理をいたします。
147	海上ならいいかもしれません。	今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。
148	近くの住民の方や動物、環境に被害が大きすぎると思います。	環境影響評価手続を通して、住民の皆様及び環境への影響を極力低減できるような事業計画を検討してまいります。
149	多くの方にもっと知ってもらいたい。	説明会の実施については、事前に新聞広告・新聞折込みチラシ、および雲南市、安来市、松江市内全戸配布も実施し、広く周知しております。雲南市、安来市については市内放送、市の広報誌、雲南市についてはさらにテレビ CM も活用し広く周知致しました。周知方法については、今後、行政の関係部署等に相談のうえ、検討してまいります。
150	地球の環境破壊が問題視されているいま、なぜおおがかりな開発を行う必要があるのでしょうか？風力発電には、さっこん色々な問題が浮上してきている今なぜ、この場所を選ばれたのか。 山陰地方は、都会からはなれ生態系を維持している自然が豊かであることがなにより貴重であると考えます。 不必要な、今だけをみた開発に反対します。未来の子孫たちに豊かな自然を残してやることは、今を生きる大人たちの使命だと考えます。	発電所の選定場所につきましては、NEDO の風況マップ等を参考にして風況の良好な場所であるか、社会インフラが整備されているか、法令許認可の制約条件、系統への連系が可能か等を考慮し選定しております。今後の環境影響評価手続を通して、また、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、事業可能か検討してまいります。
151	今まで大切にしてきた自然をこれからも大切にしてお暮らせる方法を見つけてほしいです。それはきっと私たちの未来だけではなく子どもたちの豊かな暮らしと心や体の財産になるからです。	環境影響評価手続を通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
152	風力発電所の設置によって土砂災害等の災害が発生するリスクについてどのように調査、認識しているのか。豊かな水源や、野生動物への影響をどのように測っているのか。	事業計画の詳細検討に当たっては、水源かん養保安林及び土砂流出防備保安林等の指定状況や当該林分の現存状況等に留意し、関係機関等とも協議・調整し、必要な手続を適切に進めながら、計画熟度を高めていく方針であり、極力既存林道を活用することで必要最低限の改変面積とする方針です。その上で、下流におけ

		る土砂災害リスクを高めないように、関係機関と協議を実施し、適切な設計を検討してまいります。環境影響評価手続きの中では、「土地の安定性」を項目として選定しており、準備書においてボーリング調査等の地質調査結果やそれに基づいた予測及び評価結果をお示しします。 また、動植物については、現地調査を通じて生息している重要種を把握し、事業の実施による環境影響要因を選定して事業に対する影響を予測及び評価いたします。
153	風力発電に関わっている企業はどこですか？おそらく地元を愛する企業であればこのような簡単な建設判断には至らないでしょう。これから少子化で大変とされているのに、今以上の電力が必要なのでしょうか。私たち人間が今どう生きるべきか、目先の利益ではなく自然の一部であることを自覚した謙虚な行動をお願いしたいです。	弊社の他の発電所においては、建設工事や風車・変電設備の維持管理業務において地元企業にご協力いただいております。本件においても多様な業務において地元企業にご協力いただいております。
154	住民の了承なく勝手に進めないで欲しいです。	今後引き続き説明会や意見交換会を実施し、住民の皆様に事業概要をご説明し、ご不安とご懸念を払拭いただけるよう努めてまいります。
155	友人から聞きました。沖縄の今帰仁村にも風車があります。遠く離れていても風に乗って回る音が聞こえてきて、とても体が冷えるような不思議な音がします。実験として風車のことを経験すると思いませんでしたが、あまり良いものではないなと言う感触です。それが近くにできたら住んでいる人たち、動物たち鳥たちが心配です。。他にも発電の方法はたくさんあるのではないかと思います。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
156	本当に安全ですか？	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
157	なぜ、風力発電は必要なのか？税金の無駄遣いではないのか？発電しない場合の補償は？ 工事費や人件費、修繕費等がかかる費用を上回るメリットがあるのか？	本計画は民間事業のため税金を使うことはございません。 また、地球温暖化問題に対応していくことは国際社会においても現在の最重要課題の一つであり、我が国の施策、行政・まちづくりにおいても、温室効果ガスの排出削減に取り組むことは喫緊の課題とされています。本事業は、この課題に取り組みながら、地域の活性化にも資することを目指して推進しようとするものです。
158	廃棄物の処理について教えて欲しいです。	風力発電設備のリサイクル手法や廃棄物処理については、法令を遵守し適切に処理をいたします。
159	マイナスしかない取り組みはやめて頂きたい	本事業のメリットにつきましては、地元貢献を検討しております。これまでの事例として、祭事・ボランティアへの参加、獣害対策事業への寄付、企業版ふるさと納税、発電所見学等様々な施策を実施しております。他にも「次世代を担う子供たちへの支援」をテーマに、奨学金の

		支給（高校生、高専生向け奨学基金の設立）、ランドセル購入費用補助、再生可能エネルギーに関する学習コンテンツ付ノートの無償配布等を実施しております。上記に限らず地元特性にあった内容とするために、地元の皆様のご意見を参考に検討してまいります。 本事業を実施するにあたり、生活環境への影響、動植物への影響、工事による周辺地域への影響が想定されますが、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
160	風力発電に反対します。地盤の問題や自然環境への影響を考えると、建てて何か問題があつてからでは取り返しがつきません。	現在は、計画地において風力発電所の建設が可能かの調査をしている段階です。なお、今後の事業計画の詳細検討に当たっては、水源かん養保安林及び土砂流出防備保安林等の指定状況や現状等に留意し、関係機関等とも協議・調整し、計画熟度を高め、極力既存林道を活用することで必要最低限の改変面積とする方針です。その上で、土砂災害リスクを高めないように、関係機関等と協議を実施し、適切な設計を検討してまいります。また、環境影響評価手続きの中では、「土地の安定性」を項目として選定しており、準備書においてボーリング調査等の地質調査結果やそれに基づいた予測及び評価結果をお示しします。 ご懸念の自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
161	騒音や低周波による健康被害があった場合、補償はしていただけるのか、「気のせいでは？」で済まされてしまうのではないかと、非常に不安です。	今後の調査を踏まえた設計や各種許認可の審査により自然災害や健康被害が起きることのないよう計画してまいります。万が一弊社が開発したことにより住民の皆様へ被害が発生した場合は責任をもって対策を講じ、生じた損害に対し、補償させていただく考えです。
162	この計画必要だとは思えません このように豊かな大地を 人々の暮らしを壊してまで 進めるようなものではないとおもいます 本当の意味で大切なもの 残していくもの 必要なかどうか 考える必要があると思います 私は全ての工程を望みません 計画はとりやめるべきだと思います	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
163	自然を破壊するようなことはやめて	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様

		様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
164	カーボンニュートラル、なんぞはあくまで表向き。次世代へゴミを押しつけるということがわかっていて、ゴリ押しでしれっとやるんですよね。この世にお金というものがなかったら、もしくは、お金になんの価値もなかったら、それでもこのようなものを作ろうとしますか？ 対立をしたいわけではありません。循環しないものは、地球にとってはゴミになる。 ゴミどころか、害にまみれることになります。巨大な風力発電の下に、あなた自身があなたの大切な人、家族や子供たちを住まわせることができますか？ あなたたちの目指していること、やろうとしていることは、森羅万象にとって、決して生み出してはいけないモノということにどうぞ気づいてください。そして、本当の意味での、持続可能な怖れから解放された人生にシフトチェンジしていけるように勇気を持ってやめてください。	風力は、枯渇することなく将来にわたって永続的に利用することができる再生可能なエネルギー資源です。また、風力発電の導入拡大によって環境に優しいエネルギーを創ることが可能になるだけでなく、化石燃料の輸入に依存せずに我が国のエネルギー自給率を向上させることに貢献するものであります。
165	不自然なものを自然の中に作るのには反対。断固反対。	環境影響評価手続を通して、環境への影響を極力回避又は低減できるような事業計画を検討してまいります。
166	必要ありません。自然破壊です。やめてほしいです。	環境影響評価手続を通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
167	周辺への自然災害に対して法律・条例以上の配慮と補償がなければ、地域住民の賛同は得られません。	今後の調査を踏まえた設計や各種許可の審査により自然災害や健康被害が起きることのないよう計画をしておりますが、万が一弊社が開発したことにより住民の皆様へ被害が発生した場合は責任をもって対策を講じ、生じた損害に対し、補償させていただく考えです。なお、本事業に伴う費用は事業者が負担いたします。
168	風力発電のメリットばかりに注目して、今後起こりうるデメリットについてがまったく考慮されていないと思います。一度作ってしまったら、もう元の状態には戻せません。熟慮に熟慮を重ねていただきたいです。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
169	島根県の魅力や自然環境の価値を推して移住者を呼びこむ努力をされているのにそれに逆行した事業は本当に必要なのでしょうか。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
170	なぜ自然を壊してまで、多大な電力が必要なのでしょう？	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。

171	大規模な風力発電施設を建設することに意味はあるのか？自然を破壊して、クリーンなエネルギーとかほざいていませんか？？ 小規模でその地域だけを賄える発電方法を考えませんか。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
172	水源地を壊さないでほしい。	風力発電機の設置に伴う水源（地下水及び河川流水）への影響について、地下水につきましては、今後、環境影響評価法の項目とは別に専門家ヒアリングや、利用状況及び位置を把握し、水利用されている井戸等において湧水量や水質の調査を行う予定です。また、河川流水の水質については、環境影響評価の中で、沈砂池排水の到達距離を予測し、河川に直接流入しないような工事計画を検討し、水質への影響を極力回避又は低減できるような計画に努めてまいります。なお、調査、予測及び評価の結果につきましては準備書にてお示しさせていただくとともに、方法書同様に説明会にてご説明させていただきます。
173	昭和 34 年に台風の災害にあい山がくずれて又 2 年後に同じ災害にあい家がこわれた。やまがくずれて木々も家も流されたことがあるが、50 年以上の間木が生えず、今現在も斜面が荒地になっている。その為にその土地に家を建てることも出来ず杉などもうえても大きくなならない。大きな山がこわされることは山も水も違ってくるので反対	事業計画の詳細検討に当たっては、水源かん養保安林及び土砂流出防備保安林等の指定状況や当該林分の現存状況等に留意し、関係機関等とも協議・調整し、必要な手続きを適切に進めながら、計画熟度を高めていく方針であり、極力既存林道を活用することで必要最低限の改変面積とする方針です。その上で、下流における土砂災害リスクを高めないように、関係機関と協議を実施し、適切な設計を検討してまいります。環境影響評価手続きの中では、「土地の安定性」を項目として選定しており、準備書においてボーリング調査等の地質調査結果やそれに基づいた予測及び評価結果をお示しします。
174	Nedo によるマップを見ましたが、全国的に比べても風力はそこまで大きくはないと思いました。なので、わざわざ島根に風力発電を作る理由が分かりません。	発電所の選定場所につきましては、NEDO の風況マップ等を参考にして風況の良好な場所であるか、社会インフラが整備されているか、法令許認可の制約条件、系統への連系が可能か等を考慮し選定しております。今後の環境影響評価手続きを通して、また、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、事業化が可能か検討してまいります。
175	ジャパンリニューアブルエナジーさま 日向山・大出日山共にどんな条件を出されようとも、風力発電施設は必要ありません。 私たちは、風車の建つことをまったく望んでいません。木が保ってくれているもとの山の生態系のバランス。どうやってもとに戻すのかわからないものをもうこれ以上こわさないでください。あなたがたの六本木のビルの上に建てたかったらどうぞ建ててください。	現在は、計画地において風力発電所の建設が可能かの調査をしている段階です。なお、今後の事業計画の詳細検討に当たっては、水源かん養保安林及び土砂流出防備保安林等の指定状況や現状等に留意し、関係機関等とも協議・調整し、計画熟度を高め、極力既存林道を活用することで必要最低限の改変面積とする方針です。その上で、土砂災害リスクを高めないように、関

		係機関等と協議を実施し、適切な設計を検討してまいります。また、環境影響評価手続きの中では、「土地の安定性」を項目として選定しており、準備書においてボーリング調査等の地質調査結果やそれに基づいた予測及び評価結果をお示しします。
176	私も電気を使わせていただいています。感謝していますし、電力会社に文句を言える立場ではないかもしれませんが。 しかし、人間も自然の一部。自然が健全であって初めて人間も健やかでいられると思います。人間の都合だけで自然界を犠牲にすることは、目先はよくても未来にとって、おそらく、負の影響があると思います。(特に今回のような大きな事をする) 国の目標よりも、そこに暮らす命のことを最優先に考えた事業をされることを願っています。本当に、どうしても必要でしょうか？	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
177	地元だけの問題でなく、自治体が責任をもつということは大事 20年で撤去？ 今、必要ないと思っている。なぜ、設置するエネルギーがばく大 外国からの資材に？費用ばく大	今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。
178	人体への影響だけではなく、生態系が崩れることを懸念して、風力発電機設置に反対します。	現地調査の結果から予測及び評価を実施し、自然環境への影響を可能な限り、回避・低減いたします。
179	豊かな日本の自然を後世に残してください。 人間中心の考え方で進める風力発電に反対します。	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
180	神域の大東町・松江市境 八雲山からの景観悪化 神域の松江市 熊野大社元宮 天狗山からの景観悪化 大東町山王寺 棚田からの景観悪化 山切り崩しによる土砂災害、自然破壊となる 山合いで低周波の健康被害の影響が計り知れない	八雲山及び山王寺の棚田につきましては、主要な眺望点として選定しております。天狗山につきましては、ご意見を踏まえて主要な眺望点に追加選定いたします。今後の手続きにおいて現地調査、予測及び評価を行い、これらの眺望景観への影響を極力回避または低減するよう努めてまいります。 また、土砂災害等につきましては林地造成に係る開発許可手続きの中で、行政の担当課、専門家の指導のもと集中豪雨などにも耐えられる設計、治水能力などが低下しないような設計、濁水対策の設計を行っていくことで、ご心配されている事項が問題とならないように対応してまいります。 また、低周波音については超低周波音も含めて環境評価項目として選定し、今後現地調査結果を踏まえて予測及び評価を行い、その結果を踏まえて影響を極力低減できるような事業計画を検討してまいります。

181	一旦開発が始まれば、もとは戻りません。 動物は戻れないし、植物はやせ細ります。荒れるだけです。 土砂災害の原因を増やさないで下さい。	現在は、計画地において風力発電所の建設が可能かの調査をしている段階です。なお、今後の事業計画の詳細検討に当たっては、水源かん養保安林及び土砂流出防備保安林等の指定状況や当該林分の現存状況等に留意し、関係機関等とも協議・調整し、必要な手続きを適切に進めながら、計画熟度を高めていく方針であり、極力既存林道を活用することで必要最低限の改変面積とする方針です。その上で、下流における土砂災害リスクを高めないように、関係機関と協議を実施し、適切な設計を検討してまいります。環境影響評価手続きの中では、「土地の安定性」を項目として選定しており、準備書においてボーリング調査等の地質調査結果やそれに基づいた予測及び評価結果をお示しします。
182	・不妊につながり、ますます少子高齢化が進む ・予定されている地域にアレルギーを持つ孫が居り、健康被害が心配 ・空家が増えてしまう可能性や、家の価値が下がるのではないかと不安 ・自然破壊、土砂災害がひじょーに不安である。 ・動物達の生態破壊による人害被害が心配 ・八雲山からの景観が損なわれる ・水がにごり、ホテルがいなくなるのでは ・雷が多い土地柄火災が心配 ・現状、生活できているのに一部の権力者の金儲けのために利用しないで欲しい。	今後の現地調査結果を踏まえ、騒音や低周波音、水質、動物、植物、生態系などへの影響を予測し、適切な環境保全措置を実施することで環境への影響を可能な限り低減させた事業計画を検討してまいります。 八雲山については現地調査を実施し、八雲山から望む眺望景観への影響を極力回避または低減するよう努めます。 工事中に発生する濁水については、降雨時の雨水が一カ所に集中しないように分散排水とし、沈砂池による濁水対策を実施いたします。また、準備書において、沈砂池からの排水到達距離を予測し、沈砂池からの排水が河川へ直接流入しないような計画とします。 落雷につきましては、過去の風車落雷事故の事例を踏まえ規制が厳しくなり、これに伴い日々風車の性能が上がっており、避雷針や羽の先端で電気を受けて地中に逃がす設計となっていることから近隣への火災や山林樹木への被雷は防げると考えます。
183	事業者の説明会に参加して、資料の中に CO2 削減についての資料がありました。その中では、建設の為の CO2 削減はありましたが、利用後の計画について考えられてない様に思えました。昨今では建設する場合においては、利用後の計画、解体等の工事、CO2 削減も考えて、事業がおこなわれます。20 年の利用についてはこの出雲地方（長い年月の間に環境と人のいとなみをはぐくんできた地域）においてはあまりにも短い期間と考えます。利用後は元にもどれますか。	今後の説明会等においては、撤去時の CO₂ 排出量についてもご説明をさせていただきたいと存じます。 本事業については固定価格買取制度を利用している事業であるため制度上 20 年の売電期間を前提とした計画としており、撤去後は森林法に則り適切に現状復帰を行います。なお、法制度も変化しており、電力の小売りを出来るようになったため、地元住民の皆様のご理解を得た上で固定価格買取制度に則らない売電方法や 20 年後以降も事業を継続できる方法を検討してまいります。
184	10 年後の姿を心配します。	建設後は、当社グループで適切に保守メンテナ

	機械にも寿命があり、必ず、更新費用がかかります その時 必ず、同じ状態にもどすのか。必ず更新をするのか 何の保証もないままでは、大きなゴミを残すようになるのではないのでしょうか。 身体心への影響については、実際の経験がある方であれば、わかると思いますが、説明だけでは、本当の理解は得られないのではないかと思います。いまではなく 10 年後を考えてほしいです。	ンスを行うことで安定的な発電所の運営及び電力供給をできるように計画を検討してまいります。 なお、林野庁が定める開発行為の許可基準の運用細則においては、「現状回復等の事後措置」とは、開発行為が行われる以前の現状に回復することのみをさすのではなく、造林の実施等を含めて従前の効用を回復するための措置とされており、本事業においても土地管理者及び許可権者との協議の上、地元住民の皆様のご要望も伺いながら植栽をするなど適切な対応を実施いたします。
185	自然をこわしたら、取り返しがつかない。 動植物の生態系に影響が大きい。	現地調査の結果から予測及び評価を実施し、自然環境への影響を可能な限り、回避又は低減いたします。
186	せっかくの美しい自然を一度こわしてしまったら、元にもどすのにどれだけの時間とどれだけの労力が必要か。未来のために、止める勇気を…！	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
187	人体への影響、自然破壊など、全く賛成する予知はありません。 被害は多数出ているので、住民に詳しく説明するか、資料を作るかして下さい。	今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。
188	実家が近隣にあり、高齢の両親が生活をしており、父がペースメーカー、母が耳なり、めまいを発症しており、健康被害をとっても心配している。 観光名所も多々あり、景観破壊も気になります。	環境影響評価手続きにおいて、風力発電機から発生する騒音の影響については、「風力発電施設から発生する騒音に関する指針」（環境省、平成 29 年）に基づき、地域の残留騒音に沿った指針値で評価いたします。その上で、風力発電機の配置計画等、施設の稼働による騒音に関する影響が回避又は低減出来る計画を検討してまいります。景観については、眺望景観に配慮した事業計画となるよう努めるほか、方法書において選定した地点からのフォトモンタージュを作成し、準備書にてお示しいたします。
189	上記以外にもたくさんのリスク、デメリットがあるにもかかわらず、わざわざ豊かな自然をこわしてまで、全国最大規模の風力発電を建設する必要性が全くわかりません。 山の木々、地上の枝葉と同じだけの大きさの根を地中にはりめぐらせて地盤を守っていますが。 風車にそれと同じことができますか？	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
190	ただでさえ熊やハチに困っているのに悪化されたらたまらない。 暴れたり地くずれすごく嫌。せっかく綺麗な土地なのに災害でつぶれたらどうしてくれる。命には変えられないでしょう。 人を殺すつもりですか。断固反対します。	事業計画の詳細検討に当たっては、水源かん養保安林及び土砂流出防備保安林等の指定状況や当該林分の現存状況等に留意し、関係機関等とも協議・調整し、必要な手続きを適切に進めながら、計画熟度を高めていく方針であり、極力既存林道を活用することで必要最低限の改変面積とする方針です。その上で、下流における土砂災害リスクを高めないように、関係機関と

		協議を実施し、適切な設計を検討してまいります。環境影響評価手続きの中では、「土地の安定性」を項目として選定しており、準備書においてボーリング調査等の地質調査結果やそれに基づいた予測及び評価結果をお示しします。 自然災害や健康被害が起きることのないよう計画をしてまいります。万が一弊社が開発したことにより住民の皆様へ被害が発生した場合は責任をもって対策を講じ、生じた損害に対し、補償させていただく考えです。なお、本事業に伴う費用は事業者が負担いたします。
191	設置するにあたり、土壌汚染を懸念しています。また、設置後の処理について、不透明さと、無責任さに、失望です。子どもらに、何を残していけば良いかは、今を生きる大人の使命！“産業廃棄物”を残すなんて、とても情けないです。	まずは本計画地にて発電所の設置が可能かを判断するために環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見を伺い、現地調査を行ってまいります。なお、撤去後は森林法に則り適切に現状復帰を行い、産業廃棄物を残すことはございません。
192	風力発電の騒音や低周波、超低周波による継続的な身体への影響について、研究がまだ不十分な状況で風力事業を進めるのは反対です。 その場所で生活している人・家畜・野生動物への健康や安全な環境を侵害する行為だと思います。世界中で風力発電基の近隣に住む人々や家畜への健康被害の報告が相次いでいる中、解決のための具体的な対策や対応が推進事業者や行政の責任者側から提示されていません。安全性の保障が低い事業を、ただ推進することを目的として開発事業を行うような現状は、持続可能社会の現実から離れた行動になっていると思います。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
193	風力発電は CO2 を排出しないエネルギー源として活用していこうとされているが、調べれば調べるほど、多くの害があることがわかってきている。とりわけ、集落のある山間部に建設しようとするれば、当然上記されているような被害を伴うことになる。世界の動向としては洋上風力を増やそうとしていると認識しており、日本も今後、洋上浮体構造での建設等開発しようとしていると認識している。危険性と大きな生体への自然破壊を伴う今回の発電計画には反対である。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
194	1. 東京の会社なのにどうして島根でこの事業をやるのですか？ 島根の気候とくに冬期の積雪量及び雪の質を把握されていれば羽根つき風車をまわすのに適していないことは、明らかだと思います。 メンテナンスなどどのようにお考えでしょうか？鳥取県の事例を目にしたうえでの疑問ですし。（東京生活経験者ですの…） 2. いろいろな団体からも疑問の声があがっておりますし、東京一極化を解消しなければという動きの中で地方の山間地の環境を人間が住みにくくするような事業を行うこ	発電所の選定場所につきましては、NEDO の風況マップ等を参考にして風況の良好な場所であるか、社会インフラが整備されているか、法令許認可の制約条件、系統への連系が可能か等を考慮し選定しております。今後の環境影響評価手続きを通して、また、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、事業可能か検討してまいります。 また、ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったう

	とについて再度考えて頂きたくお願い申し上げます。 3. 自分が山の持ち主でしたら、この事業に山を提供しようとは考えません。	えて影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
195	強風で止まり、無風で止まる風力発電は必要ない。知人の家(大山)の風車は、夜間うるさく停止していると聞いた。無意味な事業は犠牲を伴うため反対 のどかな島根の山々を破壊しないでほしい。	騒音や低周波音は、距離が離れるほど減衰していきますが、地形等の状況により騒音の伝搬状況は大きく変わる可能性もございます。予測では標高データ等を用いて地形による音の伝搬状況を考慮した予測を実施します。 今後、環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
196	日野町はオシドリ来鳥の里ですがオシドリがなくなってしまう！！	今後の環境影響評価において、オシドリについても適切に調査、予測及び評価を実施し、影響が懸念される場合は環境保全措置を検討してまいります。
197	未来の子どもたちにとって負の遺産になると感じています 建設してほしくないです	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
198	デメリットが大きすぎるため、この事業に不安しかない。 未来の子どもたちに良い町を残したい。	地球温暖化問題に対応していくことは国際社会においても現在の最重要課題の一つであり、我が国の施策、行政・まちづくりにおいても、温室効果ガスの排出削減に取り組むことは喫緊の課題とされています。本事業は、この課題に取り組みながら、地域の活性化にも資することを目指しております。
199	健康被害が出る事は確実だと思われます。補償費用も莫大になるでしょう。それだけの会社の体力がありますか。全国的に有名になるでしょう。会社の悪名がとどろく事と思います。	本事業に起因する災害で弊社に責任がある場合は、生じた被害に対し補償をさせていただく考えです。
200	地元には何のメリットもなく、長期に渡って被害のみが残る事業はやめて欲しい	本事業のメリットにつきましては、地元貢献を検討しております。これまでの地元貢献の事例として、祭事・ボランティアへの参加、獣害対策事業への寄付、企業版ふるさと納税、発電所見学等様々な施策を実施しております。他にも「次世代を担う子供たちへの支援」をテーマに、奨学金の支給(高校生、高専生向け奨学基金の設立)、ランドセル購入費用補助、再生可能エネルギーに関する学習コンテンツ付ノートが無償配布等を実施しております。上記に限らず地元特性にあった内容とするために、地元の皆様のご意見を参考に検討してまいります。 ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。

		話し、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行い、ご不安とご懸念を払拭いただけるよう努めてまいります。
201	エネルギー問題を考える上で必要ではないでしょうか。電気を使用している日常でエネルギー源をどこに置くのか 必要な問題でもあると思います。 今のまま化石燃料を使用するのも考える時代となっているのではないのでしょうか。 我が家では微力ながら太陽光パネルにて発電消費している次第です。	風力は、枯渇することなく将来にわたって永続的に利用することができる再生可能なエネルギー資源です。また、風力発電の導入拡大によって環境に優しいエネルギーを創ることが可能になるだけでなく、化石燃料の輸入に依存せずに我が国のエネルギー自給率を向上させることに貢献するものであります。
202	自然由来のエネルギー確保も必要だと思いますが、レ点をつけた箇所について不安はあります。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
203	風力発電の有用性が??なのに自然を崩してまで取り入れる理由が知りたい。	地球温暖化問題に対応していくことは国際社会においても現在の最重要課題の一つであり、我が国の施策、行政・まちづくりにおいても、温室効果ガスの排出削減に取り組むことは喫緊の課題とされています。本事業は、この課題に取り組みながら、地域の活性化にも資することを目指しております。
204	遠くから眺めると大きくて、ゆったりとしたかんじがするが、近くまでいくと、かなり大きな音でびっくりした。(北栄町の海岸にある風車)この風車が山の上に建てられることを想像すると、山を崩さなければいけないので、自然を壊してしまうと思う。騒音による健康被害、自然破壊につながるので、事業の見直しを求める。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
205	全てにおいて不安・心配があります。土砂崩れマップでも、危険区域に該当していますが、御社の所在する地域は該当していなかったのですの辺りでの建設を考えてはどうでしょうか。	対象事業実施区域においては、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の指定はございません。今後、現地での測量、地質調査、地盤調査等を行い、現地の状況を的確に把握した上で詳細な事業計画を検討する方針です。
206	電力は逆にあまっている、これから需用量も減少していく、という事実を知りびっくりした。そもそも風力機を作って電力を作る必要はないのではと思った。	風力は、枯渇することなく将来にわたって永続的に利用することができる再生可能なエネルギー資源です。また、風力発電の導入拡大によって環境に優しいエネルギーを創ることが可能になるだけでなく、化石燃料の輸入に依存せずに我が国のエネルギー自給率を向上させることに貢献するものであります。従って、電力供給量の十分性をさらに増やすための事業ではございません。
207	環境、健康面でのリスクが排除できない設備技術は、実験機として小規模からスタートすべきと考えます。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。

208	エネルギーをつくるためには、どこかで誰かががまんしないといけないと思っていましたが、“エネルギーは足りる”のだったらもう誰もががまんしなくて良いじゃないかいました。 このように意見を表明することで事業所を思いとどめた前例を希望にしています。 たとえ事業所の世間体だとしても。 では自然を守るエネルギーは結局なにが良いのか…その答えがみつからずです。	風力は、枯渇することなく将来にわたって永続的に利用することができる再生可能なエネルギー資源です。また、風力発電の導入拡大によって環境に優しいエネルギーを創ることが可能になるだけでなく、化石燃料の輸入に依存せずに我が国のエネルギー自給率を向上させることに貢献するものであります。従って、電力供給量の十分性をさらに増やすための事業ではございません。
209	生活環境、エネルギー、生産性の面で、どれ一つ建設する意味がないと思います。反対します。	今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。
210	推進している（風力発電を）東京の会社は長年風力発電の問題に取り組まれてきた武田先生等、被害にくわしい先生等の話をききに行ったり被害について学ばれた様子がありませんでした。その上で、「検討します。」とくり返しており、会社の中でしか、話し合われて、被害者によりそった対策ができていないのではと不安感がつのりました。	ご意見いただいた被害が風車に起因するものなのかどうかは定かではありませんが、被害といわれる事象を発生させないように、法令等に基づいてその影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
211	そもそも天狗山に建設を検討と聞きましたが、神々の総本山である当山に対する冒瀆であり、言語同断到底許されない。計画を中止、事業の徹底しかないと考えます。	当初計画時点では天狗山を含めたエリアで机上検討しておりましたが、現在は天狗山を除外したエリアで事業計画を検討しております。
212	・熊野大社を中心とした神域に人工物（風車）の建設はNOです。 ・今度の風力発電の基模は大きく、実記もされないことに大いに不安がある→NOです。 ・風力発電が建設されないのに、調査（水質・土質…）の意味がない。 ・中止をさせる為には、大きな反対のうねり（波）が必要だ。行政、県、市などのトップを動かすこと（説得）が重要だ。	現地調査を踏まえ、予測及び評価を行うことで、風力発電所による環境への影響をできる限り回避・低減するような計画を検討してまいります。 また、事業説明会にて、住民の皆様にご説明し、ご不安とご懸念を払拭いただけるよう努めてまいります。
213	環境破壊、健康被害への企業の甘過ぎる、経済的見地は絶対に許容できるものではない。 「基準」に適合、適正に対応～云々 一度の人為的崩壊を復元させること等、数10年数100年を用いても、現状環境を破壊させてしまえば戻すことは無いことがわからない。認識したくないというレベルの事業等、全く不要。 健康被害の実態も無しの説明等、根拠もなく、コロワクの被害者数等のレベルと全く同じ主権者を無視した企業見解であり、受け入れることは出来ない	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
214	私達の大切な場所をこわさないで欲しい 私達の大切な体をこわさないで欲しい 子孫の未来をこわさないで欲しい とにかく大反対します いま直ぐ計画を中止して下さい	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
215	健康被害や環境保全の観点から風力発電事業そのものの必要性を見直すことが大切である。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで

		影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
216	発電そのものに疑念があります。バックアップ・ベースロードとして、本当に実用性があるのか説明下さい。充電システムがない以上、メーターを回して再エネ賦課からの高額買取制度のみが存在理由ではないのですか。	我が国では再生可能エネルギーによる安定的な電力供給のために発電所または系統側に蓄電池システムを設置する取組が始まっています。そうした導入が進むことで将来は再生可能エネルギーがベースロード電源として低コストかつ安定的な電力供給のために他の電源のバックアップができると考えております。 風力は、枯渇することなく将来にわたって持続的に利用することができる再生可能なエネルギー資源です。また、風力発電の導入拡大によって環境に優しいエネルギーを創ることが可能になるだけでなく、化石燃料の輸入に依存せずに我が国のエネルギー自給率を向上させ、高騰している電気代も下がることに貢献するものであります。
217	前例がない規模の風力発電事業とのことですが、これは実験になりませんか。 水源地に設置すると聞きますが、不安です	風力発電機の設置に伴う水源（地下水及び河川流水）への影響について、地下水につきましては、今後、環境影響評価法の項目とは別に専門家ヒアリングや、利用状況及び位置を把握し、水利用されている井戸等において湧水量や水質の調査を行う予定です。また、河川流水の水質については、環境影響評価の中で、沈砂池排水の到達距離を予測し、河川に直接流入しないような工事計画を検討し、水質への影響を極力回避又は低減できるような計画に努めてまいります。なお、調査、予測及び評価の結果につきましては準備書にてお示しさせていただくとともに、方法書同様に説明会にてご説明させていただきます。
218	そもそも熊野大社元宮である天宮山の同域（神域）に大がかりな建築物を設けることに大きな疑念があります。 風力発電機は基本的に大きな振動を発するものであり、多少の対策を行っても、周辺への影響は回避できないと考えており、洋上であつたり、あきらかに心配のない場所に設置して欲しいと考えます。計画の再考をお願いしたい。	歴史的価値や埋蔵文化財について地方自治体の担当部署や専門家等にヒアリングを行い、それらに配慮した事業計画を検討してまいります。 風力発電機は、法令および第三者機関による厳しい審査に基づき基礎を設計し、その上に固定されております。従って、風力発電機の設置により大きな振動が遠くまで伝搬することはないと考えております。
219	山は信仰の対象です。とり返しのつかないと思うのでやめていただきたい。	歴史的価値や埋蔵文化財について地方自治体の担当部署や専門家等にヒアリングを行い、それらに配慮した事業計画を検討してまいります。
220	騒音について ・ 現今ブレードの改良を進めている（大メーカー）事に望みをかける ・ 小規模又は水力の方策を進めては	騒音については、 ・ 風車機種種の性能が向上しており、年々改良が進められています。本計画においても風車調達までに現在よりも改良が進められた機種が利

		用できれば積極的に採用することも検討してまいります。 ・環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
221	自然エネルギーの活用は必要であるが、余りにも巨大な発電施設は賛成できない。環境と調和した発電施設とすべきである。	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
222	今回の事業計画を知るまで、風車建設・風車の稼働などに起こる弊害がこんなにもたくさんあるとは思いませんでした。 全ての分類を懸念していますが、特に強く思うのが、健康被害と土砂災害です。私たちが生きていく上で命に関わる弊害があってはならないと思います。今の現代では電気が不可欠で作っていくこと自体に反対はありません。風車以外にもっと発電することができる、環境に優しい設備はないのでしょうか？そこを今一度考えていただきたいと思っています。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。 風力は、枯渇することなく将来にわたって永続的に利用することができる再生可能なエネルギー資源です。また、風力発電の導入拡大によって環境に優しいエネルギーを創ることが可能になるだけでなく、化石燃料の輸入に依存せずに我が国のエネルギー自給率を向上させることに貢献するものであります。
223	自然エネルギーについては賛成ですが、大型、山の上などの設置は反対です。設置する場所については住民説明とある程度の規成が必要と考えます	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
224	自然を壊さないでほしい 昔から住んでおられる住民のことを考えてほしい お金もうけの為にこんなことはやめてほしい	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
225	豊かな雲南市の自然を後生に残していくことが、今生きている私達の使命だと思う。子供達、孫達のために	環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見や現地調査を踏まえ、環境への影響を回避・低減できるような計画を検討してまいります。
226	説明会での質問の回答を送って下さい。 1. 宮城加美事業においての住民とのトラブルについてくわしくご説明願います。とくに契約について。又、「安来での事業では、プロジェクトファイナンス、合同会社は使わない」とのことでしたが、では、どのような契約になるのか？詳しくご説明ください。 2. それから、他の方の質問でしたが、「お金の流れを分かりやすく図にして説明してほしい」とのことでしたが、私もぜひ知りたいのでお教えてください。 以上2点を上記住所にお送り願います。	1. 宮城加美においては、町有地の土地契約の町側の手続きについて、一部の住民から町に対し、ご意見いただいている状況です。本事業においては、合同会社を設立せずに、ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社が事業会社となります。また、事業用地の地権者様との契約についても、ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社が契約主体となることを想定しています。 2. 資金の流れについては、再生可能エネルギーで発電した電気を電力会社が買い取る費用の一部を電気をご利用する皆様から賦課金とい

		う形で集めていることがわかる図について、電力広域的運営推進機関のホームページより「納付金・FIT 交付金関連」の「制度概要」に記載がごございます。
227	結論から申し上げますと、「風力発電は、地元にとってメリットが無く、リスクが大きすぎ、将来は負の遺産となり、子供や孫に迷惑をかけるだけなので、断固反対します。」主な反対理由を以下に示します。 1. 水源地近くに巨大風車を建設することにより、水が汚染される可能性がある事。(安全安心な水は人が生活する必須条件です。水が汚染された土地には人は住めません) 2. 事業終了後も、基礎部分は撤去せず残される場合があり、経年劣化による有害物質流出等のリスクを、地元だけが永遠に負わなければいけない事。 3. 崩壊しやすい花崗岩の山に、日本最大級の巨大施設を建設することは、土砂崩れ等のリスクが大き過ぎて、計画そのものが非常識である事。 4. 誰が主体となって事業を行うのか、責任の所在がどこにあるのかが、曖昧である事。(御社の宮城加美事業においても明らかなように、プロジェクトファイナンス、本会社等は単に事業者のリスクを回避する手段でしかなく、地元にとっては不利益以外の何物でもありません。) 5. 騒音や低周波等による、人や家畜、鳥、昆虫、魚類、植物に対する被害により、生態系が崩れ、基幹産業である農業畜産林業及びその周辺の生業に被害が及ぶ事。 6. 歴史的景観が損なわれることによる、環境的、精神的、歴史的、宗教的、民族的、経済的被害がある事。 7. 水の汚染、土砂崩れ、健康被害、生業の喪失、希少動植物の消滅などの事態が起こった場合、現状回復が不可能であること。 8. これだけ多くのリスクがあるのに、メリットは「数人の雇用」だけで、全く地元の為にならないこと。 地元にとって有害無益である風力事業を、速やかに白紙撤回されることを要望いたします。	1. 本事業において、防除草剤の使用はいたしません。工事中に発生する濁水については、降雨時の雨水が一カ所に集中しないように分散排水とし、沈砂池による濁水対策を実施いたします。また、環境影響評価の準備書において、沈砂池からの排水到達距離を予測し、沈砂池からの排水が河川へ直接流入しないような計画とします。 2. 基礎部分については撤去を行う方針ですが、杭基礎については引き抜くことにより、地盤を緩くする危険性もあることから周辺環境への影響を考慮し、適切な処置対処を行うことを検討しております。 3. 事業計画の詳細検討に当たっては、水源かん養保安林及び土砂流出防備保安林等の指定状況や当該林分の現存状況等に留意し、関係機関等とも協議・調整し、必要な手続きを適切に進めながら、計画熟度を高めていく方針であり、極力既存林道を活用することで必要最低限の改変面積とする方針です。その上で、下流における土砂災害リスクを高めないよう、関係機関と協議を実施し、適切な設計を検討してまいります。環境影響評価手続きの中では、「土地の安定性」を項目として選定しており、準備書においてボーリング調査等の地質調査結果やそれに基づいた予測及び評価結果をお示しします。 4. 本事業につきましては弊社が責任をもって行います。本事業に起因する土砂災害や健康被害等につきましては、弊社に責任がある場合は、生じた被害に対し補償をさせていただく考えです。 5. 現状としては、風力発電機からの低周波音や騒音による動物、植物及び生態系影響が報告された事例は把握しておりません。影響が認められた場合は専門家等の意見を踏まえ環境保全措置を検討してまいります。 6. 埋蔵文化財や歴史的な価値のある場所での事業計画については、地方自治体の関係部署に相談し、風力発電施設の配置等に配慮してまいります。 7. まずは本計画地にて発電所の設置が可能かを判断するために環境影響評価手続きを通して、地元住民の皆様、専門家、行政のご意見を伺い、現地調査を行ってまいります。なお、撤

		去後は森林法に則り適切に現状復帰を行います。 8. 本事業のメリットにつきましては、地元貢献を検討しております。これまでの地元貢献の事例として、祭事・ボランティアへの参加、獣害対策事業への寄付、企業版ふるさと納税、発電所見学等様々な施策を実施しております。他にも「次世代を担う子供たちへの支援」をテーマに、奨学金の支給（高校生、高専生向け奨学基金の設立）、ランドセル購入費用補助、再生可能エネルギーに関する学習コンテンツ付ノートの無償配布等を実施しております。上記に限らず地元特性にあった内容とするために、地元の皆様のご意見を参考に検討してまいります。
228	風力発電が自然の生態を壊し、人の健康被害に与える影響は、計りしれません。後のこどもたちに安心した生活を送るためにも、風力発電は必要ありません。今一度、市民の声に耳を傾けてください。なぜ反対しているか、聞いてください。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
229	私たちの健康に自然は必要です！ 私の知り合いが裕福な方が入る介護施設で働いています。100歳近い方もたくさんいます。 そんな方々が口をそろえて「健康になりたい」と言います。1億円払ってでも健康が欲しいと言う人もいます。お金を持っている方の言葉です。お金より健康が大切です。 1億円で健康は買えません。 しかし自然は無料で健康を与えてくれます。 私の願いは健康な人々が増えることです。 健康でないと「お金より健康が大切」の意味がわからなくなってしまうです。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
230	山陰への移住を考えています。 長期で見て住民、ないし国民にメリットがあるとは思えない計画です。 日本の自然は豊かですが、それでも各地で守り抜いていかないといけないと思います。 どうか計画の中止をお願いします。	本事業のメリットにつきましては、地元貢献を検討しております。これまでの事例として、祭事・ボランティアへの参加、獣害対策事業への寄付、企業版ふるさと納税、発電所見学等様々な施策を実施しております。他にも「次世代を担う子供たちへの支援」をテーマに、奨学金の支給（高校生、高専生向け奨学基金の設立）、ランドセル購入費用補助、再生可能エネルギーに関する学習コンテンツ付ノートの無償配布等を実施しております。上記に限らず地元特性にあった内容とするために、地元の皆様のご意見を参考に検討してまいります。 本事業を実施するにあたり、生活環境への影響、動植物への影響、工事による周辺地域への影響が想定されますが、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事

		業計画を検討してまいります。
231	今だけ、金だけ、自分だけの考えです。 自分達だけの利益を追っていく時代ではありません、未来の子供達に負の遺産を残してはいけません。	今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。
232	出雲の聖地をこのような開発で汚してはなりません、	今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。
233	そんなに大きなものを作らなくても、もっとできることがあるはず。地球に住んでいるのは人間だけではありません。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
234	大切な自然を破壊してまで今以上に電力を確保する必要はないと思います。24 時間お店を空けているような便利はもう見直して電力確保ではなく、消費量を減らす働き掛けをしてください。人間も環境の一部ですから当然子々孫々の命を脅かすことになります。今だけ金だけ自分だけでなく次世代のための賢明な判断をお願いします。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
235	若い世代の負担になる、環境の問題についてよく考えてほしいです。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
236	先の未来に不安がありそんなことを歓迎できません	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
237	風力発電に対しては、漠然とどちらかと言えば良いことだと思っていました。 が、世界や日本の例やデータなどを見たら聞いたりする中で、知れば知るほど、これだけのリスクがあるものを進めていくことが安来にとって住む人にとって環境にとってよきことになるとはとても思えません。 この豊かな自然を守っていくために、真にみんなのためになる動きを望みます。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
238	ご自身やご家族が風力発電機の近くにお住まいになると 思っ、建設についてもう一度考えていただきたいです。	今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。
239	未来のことも考え、住みやすい日本を創ってほしい	今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。
240	これから人口が減っていくのだから、必要ない	今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。
241	不安が沢山あります。自然エネルギーだから良いと思 っていたけど今からでも中止にさせていただけるように願 っています。	今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。

242	風力発電事業計画に反対します。健康被害、土砂災害、景観、生態系の破壊、バードストライク。すべてが私たちの生活を揺るがす事象です。 計画を取りやめて欲しい一心で集まった私たちの声を読んでいるあなたが、あなたのその手が私たちの暮らしを破壊します。事業計画、国ではなくあなたです。私たちの暮らしを壊さないでください。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
243	上記意見以上の大事な意見があつての計画でしょうか。不信感しかありません。	今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。
244	風力発電のメリットばかりに注目して、今後起こりうるデメリットについてがまったく考慮されていないと思います。一度作ってしまったら、もう元の状態には戻せません。熟慮に熟慮を重ねていただきたいです。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
245	島根県の魅力や自然環境の価値を推して移住者を呼びこむ努力をされているのにそれに逆行した事業は本当に必要なのでしょうか。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
246	目先のお金や利権に目をくらまらず、自然や地球や未来を守ってほしい。 建設することがどういうことなのか。その決断に心が痛む人であることを心から願います。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
247	絶対反対です。私たちに負の財産を残さないで欲しいです	今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。
248	人工的な建物が少ない、人もゆったりと過ごせる自然豊かな場所は日本有数です。日本にこの自然を残すためにも建設見直しは必要です。	今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。
249	風力発電には反対します。戦後復興の貧しい時に地域に生を受けた者は坊床山、猿隠山は成長期の心の聖域で。今は安来市ですが、昭和28年3月町村合併記念行事として、比田村史が編纂されました。編纂委員長に指名されたのが、郷土史家畑伝之助氏です。編纂に当たっての挨拶で、 【新日本を形成する国土の一部である我等の郷土、我々は此の郷土に限りない愛着を抱いております。郷土比田を愛する者は住みよく明るい村作りの願現に逞しい意欲がなくはなりません。我々は此の愛情を根拠として、大地を確りと踏みしめ、先人の踏み来た偉業追慕歓迎し、自らの生活を自覚して新しい健康な文化農村を生み出す事、即ちそれが、愛郷の所以であろうと考えます。】畑氏は花崗岩が風化した砂鉄の山を調査され、私たち小学生に、坊床山の七不思議や、尼子時代の十数の堂宇の歴史を教えました。終戦後満州からの引揚者に依って開拓されましたが、標高が高く苛酷であったことから、一人去り、又一人と去り16人の家族は開拓地40年の歴史を閉じたのです。父	今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。

	勉も畑氏と同じく故郷を愛しておりました。過疎化する故郷を心配しイナカ再建の歌として、遺してくれました。又望郷の山猿隠山賛歌を作詞し、CD を作成し故郷を去られた方にお配りしました。風車は故郷の山にそぐわないです。	
250	ジャパンリニューアブルエナジーさま 日向山・大出日山共にどんな条件を出されようとも、風力発電施設は必要ありません。 私たちは、風車の建つことをまったく望んでいません。木が保ってくれているもともと山の生態系のバランス。どうやってもとに戻すのかわからないものをもうこれ以上こわさないでください。あなたがたの六本木のビルの上に建てたかったらどうぞ建ててください。	現在は、計画地において風力発電所の建設が可能かの調査をしている段階です。なお、今後の事業計画の詳細検討に当たっては、水源かん養保安林及び土砂流出防備保安林等の指定状況や現状等に留意し、関係機関等とも協議・調整し、計画熟度を高め、極力既存林道を活用することで必要最低限の改変面積とする方針です。その上で、土砂災害リスクを高めないように、関係機関等と協議を実施し、適切な設計を検討してまいります。また、環境影響評価手続きの中では、「土地の安定性」を項目として選定しており、準備書においてボーリング調査等の地質調査結果やそれに基づいた予測及び評価結果をお示しします。
251	地元だけの問題でなく、自治体が責任をもつということは大事 20 年で撤去？ 今、必要ないと思っている。なぜ、設置するエネルギーがばく大 外国からの資材に？費用ばく大	今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。
252	今、旧平田の山頂にある風力発電は当初予定の 5%の電力清算だそうです。そして 20 年位で廃止そして撤去。どこが持続可能か！！そしてドイツ産の風車。我々の欲の為の電力。せめて孫、子に山と空の風景位、残してやり度い。昔は孫の為に山に植林をしたのに。それより節電、質素な生活にもどすのが先 日本人のかつてもってた品格を思い出そう。	今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。
253	事業者のジャパンリニューアブルエナジー(株)の利益追求、国の再エネ推進の意図を理解しても、私達の山陰のこの土地に風力発電を建設することは納得できません。	今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。
254	原発と同じで、田舎が、企業の利益の為に、開発されていく、許されない行為です。	2050 年までに温室効果ガスを実質ゼロにし再生可能エネルギーの導入を拡大するという我が国の施策が進まなければ原子力等の他の電源でまかなうことになります。そのため、弊社では原子力よりも安全かつクリーンな再生可能エネルギーの普及・拡大を通して持続可能な社会創りに貢献していきます。
255	必要性をまったく感じません。	2050 年までに温室効果ガスを実質ゼロにし再生可能エネルギーの導入を拡大するという我が国の施策が進まなければ原子力等の他の電源でまかなうことになります。そのため、弊社では原子力よりも安全かつクリーンな再生可能エネルギーの普及・拡大を通して持続可能な

		社会創りに貢献していきます。
256	安来市民の大切な命の水、自然の恵み全て私達の生きる権利として守らなければなりません。先祖が守ってきた大切な資源を脅かし、健康被害、自然災害に怯えながら生活したくありません。未来の子供達に負の遺産を残さない為に思いをこめ、下記事業の中止を求めます。 対象事業 (仮称) 日向山風力発電事業 (仮称) 大出日山風力発電事業	風力発電機の設置に伴う水源（地下水及び河川流水）への影響について、地下水につきましては、今後、環境影響評価法の項目とは別に専門家ヒアリングや、利用状況及び位置を把握し、水利用されている井戸等において湧水量や水質の調査を行う予定です。また、河川流水の水質については、環境影響評価の中で、沈砂池排水の到達距離を予測し、河川に直接流入しないような工事計画を検討し、水質への影響を極力回避又は低減できるような計画に努めてまいります。なお、調査、予測及び評価の結果につきましては準備書にてお示しさせていただくとともに、方法書同様に説明会にてご説明させていただきます。
257	反対です	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできる限り回避・低減する事業計画を検討してまいります。
258	断固反対です！	
259	風力発電建設反対！	
260	風力発電反対です！	
261	辞めて欲しいです。	
262	反対。	
263	とにかく反対です	
264	中止を要望致します。	
265	風力発電事業の中止を求めます。	
266	風力発電事業の中止を求めます。	
267	即刻の事業停止を願います。	
268	安来市、雲南市の風力発電計画に反対です。	
269	風力発電建設は絶対中止しろ	

また、本事業の縦覧期間中に受領した意見書の中には当社以外へ宛てた意見や他事業に向けた意見と思われるものも含まれていた。それらの意見の概要については表 2-2 のとおりである。

表 2-2 環境影響評価方法書について提出された意見の概要と事業者の見解（その他意見）

No.	意見の概要	事業者の見解
1	安来市議会でも松江市でも県東部地区に係る重要な事業であるので特別委員会でも設置して市民の代表として十分に検討されるべきである。 又安来市の土地でもあるので他人事ではない。市長の立場で反対すべき事業である。	頂いたご意見については、行政にも共有いたします。
2	<要望>風力発電事業進出に関する行政の関与 「山形県遊佐町に導入が検討されている洋上風力発電について、民間研究所が県知事あてに風車騒音と健康被害の有無などを問う質問状を提出した。超低周波音と低周波音が沿岸地域の住民の睡眠に影響が出会い化を県が調査することなどを求めている。」 というネットニュース記事があった。	

	安来市内で風力発電を行おうとする業者があるようだが、市として関与していくことをお願いしたい。 鳥取の北栄町では風力発電を行っているそうなので、問題や課題などについて町へヒアリングされることをお願いしたい。 なぜ、私がこのようなお願いをしている理由には2つある。 1つは、風力発電という十分に知識がない（住民が）事業である。 2つは、熱海の土石流で多大な被害が出てしまったが、行政による十分な関与があったら防げたであろうということである。	
3	・高木奥や八雲方面に道がつくことを期待していたが、上記の様な不安材料があることを認識した。 ・風車（発電）についての知識がまだ少ないので多少知ることが出来た。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできるだけ回避・低減する事業計画を検討してまいります。
4	生活インフラはも一度民間企業ではなく公共的なものへと切り替えてほしいです。	本事業においては、民間事業としてジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社が事業計画を検討しております。 今後の事業計画の検討にあたっては、住民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明、対話を行うよう努めてまいります。
5	本当に必要なのか？ 今一度、みんなで考えていきたいです。	ご懸念の生活環境や自然環境への影響につきましては、今後、現地調査を実施し、その結果をもとに適切に予測及び評価を行ったうえで影響をできるだけ回避・低減する事業計画を検討してまいります。
6	事業所だけではなく、それを受け入れている市や県にもアクションが必要かと思います。 （依頼主）（施工主） 活動ありがとうございます。	
7	・風力発電がクリーンだとか、自然エネルギーだといったように思いこまされてきました。 ・健康被害と環境への悪えいきょうがこれほどひどいとは、最近まで知らずにいましたが、少し前に知って、今日参加させてもらいました。 日本中の問題として、広く知ってほしいと思いました。特に地主の人に、デメリットを知ってほしいです。今日の様な勉強会を開いていただきありがとうございました。知人達に伝えます。	
8	こんなに風車が悪い問題があるとは思いませんでした。私の家の近い山にあるので、こんなに風車建設が進んでいるかと思うと不安です。どうにか中止をお願いしたいです。もっと近所さんに知らせて反対意見を出したいと思いました。あまりお年寄りさんにメリットばかり伝えなくてデメリット中心で話をしてもらいたいですね。	
9	専門的なことはあまり解らないが、80年の人生の中で新しい事は良い面、悪い面両方ある。原発の問題にしても、まだ未解決な問題あり、推進する側は良い面のみ宣伝するが要注意だ。後は野となれ山となれでは住民は大変だ。	

	日本の法律では企業側を規制する法律が弱い。憲法上は国民を守る法律もあるが現在の政権側は、企業側に甘い。やはり原発のように、又同じ事を再発する恐れがあると今日の学習会で感じました。反対すべきですね。ゼネコンのもうけに住民はおいてけぼりになる。皆に知らせて行きます。	
10	風力発電機に関してメリットがあるという認識でいましたが、今日の講演で、メリットもあまり無く、多くの問題が有ると知りました。私と同様にあまり理解していない人が大多数ではないかと思います。もっと多くの人に知らせて大きな波を起こしていく必要があると感じました。	
11	具体的に計画中止にするための方法を皆さんにお知らせする情報量を多く盛り込むと、皆さんが行動しやすくなると思います。	
12	1) 今回聴講した話しでは、設置された住民には非常に不安な要素ばかりで、利益を受けるのは、設置企業者だけだと感じました 2) 当地区の伯耆町地内も、設置の予定との事。 この場所の山地は「真砂土」ですが、この土は非常にくずれ易い性質があります。風車の振動で土地にヒビわれ（長期間の間に）が入り、其処に雨水などが入り（又は地震）自然に土砂崩れて大きな被害となると想定しています。しかし地方の町民の反対運動がないのは何故なのか。設置による企業庁の一時金が収入となるのか？反対しているのは共産党世話人のみです。 3) 電気は必要だが被害の範囲が大きいのは大変心配です。	
13	知識が少ないのでこの際勉強したい。	
14	エネルギーは足りていますよね？風力発電設置後の健康被害の声や、ましてや鳥取県側建設予定地真ん中に小学校があると聞きました。あり得ません！！それからイヌワシの生息圏も入っており大変危惧しております！どこを見ても山陰の為になっていないです！！あたかもメリットがある様な報道ばかりせずデメリットも伝えて下さい！！断固として反対です！！	ご意見を拝見しましたところ、本事業へのご意見ではないと思慮します。 本事業においては、今後の環境影響評価手続を通して、環境への影響を極力回避又は低減できるような事業計画を検討してまいります。
15	豊かな豊かな鳥取の自然をこれ以上壊さないでください。お願いします。これからも続いていくすべての生命のためにも。どうかどうかお願いします。	
16	南部町では里地里山の指定を受けた町でありいち早く町長が反対の声明を上げ国会でも問題を取り上げた事は重要であり当地は真土の山であり自然が守れません。反対です	
17	現在、環境調査が行われている。 説明会も1回のみでその状況の説明なく不安 隣の部落は推進していると聞き、対応がむづかしい	
18	これだけ自然度が高い地域での開発は慎重であってほしい。計画範囲は環境省より生物多様性保全の重要な里地	ご意見を拝見しましたところ、本事業へのご意見ではないと思慮します。

里山が含まれ、影響が懸念されます。 十分な根拠が示されず、環境影響評価書で「影響は軽減されると」と評価するが、地域住民が納得する具体的な方法を示すべきです。 (長期間曝露による被害) 日本弁護士連合会が提出した「低周波音被害について医学的調査・研究と十分な規制基準を求める意見書」では「低周波音被害は低周波音に長期間暴露したために生じる外因性の自律神経失調症候群である。疾病であるからには、その判断基準は、被害者の健康状態に目を向けた、医学的判断であるべきである」と指摘しています。同意見書では成蹊大学理工学部の岡田健氏の言葉として低周波音について「通常は、人体に影響することはありません。しかし、長時間にわたってこれに曝されると、頭痛や頭重、不眠やイライラ、肩こり、胸の圧迫感息切れ、めまい、吐き気など多種多様の不定愁訴を訴える方が少なからずいます。そして、発生源と見られるものから遠ざけると、こうした症状が軽減したり、消えたりすることから、何らかの因果関係があることは明らかです」としています。海外では2009年にニーナ・ピアボントがウインド・タービン・シンドロームとして風車による健康被害を明らかにしています。世界保健機構(WHO)は2018年、環境騒音ガイドラインを公表し、風力発電機(風力タービン)を新音源に加え、環境騒音による心臓血管系や代謝への影響、騒音曝露が健康へ及ぼす悪影響のリスクを定義するため証拠を体系的に再検討しました。日本でも1977年、西名阪自動車道の周辺で低周波音の健康影響が出る事件などがあり、低周波音と健康被害の影響を住民が不安視するのは当然と言えます。 (騒音としての風車) 環境省は2004年、低周波音問題対応の手引書をつくり参照値を定めました。しかし、環境省は「低周波音に関する感覚については個人差が大きく、参照値以下であっても、低周波音を許容できないレベルである可能性が10%程度ではあるが残されている」(2008年4月17日環境省水・大気環境局大気生活環境室事務連絡)とし、10人に1人は影響がある可能性を認めています。参照値は室外機など定常的な低周波音を対象としており、風車の規則的な音はさらに影響が大きくなる点が考慮されていません。 「風力発電施設による超低周波音・騒音の健康影響」(2018年、石竹達也)では「風力発電施設から発生する騒音(可聴域・周波数20ヘルツ以上)は、居住環境の条件等で健康影響(睡眠障害)のリスク・ファクターとなる可能性が示唆された」とされています。この調査では風車(2.4MW×21基)から2,000～5,000mで風車音が聞こえる人が7%あり、先の環境省の事務連絡を裏付けます。「石狩既設風車の低周波・超低周波音測定と健康被害」(2017	本事業においては、準備書において、現地調査結果を踏まえた環境影響の予測・評価及び、環境保全措置について記載いたします。 施設の稼働に伴い発生する騒音については、「騒音のエネルギー伝搬予測方法」(ISO 9613-2)に従い、予測いたします。準備書においては、調査地点での予測結果に限らず、風力発電機からの騒音、低周波音の寄与値について地図上で面的にお示しします。 事業計画の詳細検討に当たっては、水源かん養保安林及び土砂流出防備保安林等の指定状況や当該林分の現存状況等に留意し、関係機関等とも協議・調整し、必要な手続きを適切に進めながら、計画熟度を高めていく方針であり、極力既存林道を活用することで必要最低限の改変面積とする方針です。その上で、下流における土砂災害リスクを高めないように、関係機関と協議を実施し、適切な設計を検討してまいります。環境影響評価手続きの中では、「土地の安定性」を項目として選定しており、準備書においてボーリング調査等の地質調査結果やそれに基づいた予測・評価結果をお示しします。 クマタカ等の猛禽類については「猛禽類保護の進め方」を参考に調査、予測評価を実施いたします。 渡り鳥の調査については専門家等のご意見も踏まえ、適切な時期に実施いたします。 環境影響評価での調査項目以外の調査については、頂いたご意見を参考にさせていただきます。
---	---

年、山田大邦)では風車の「平坦特性とFFT分析を使って測定し、風車の音は10ヘルツ以下の超低周波音領域に大きな音圧の風切り音とその倍音を持つことがわかった。この領域を過小評価するA特性で風車の音を扱ってはならないということである。また、国・環境省が用いる3分の1オクターブバンド法以上に周波数成分を分解できる12分の1オクターブバンド法によって風車の健康被害を解明すべきである。大型風車で羽の先端速度が大きい場合には超低周波音領域の音圧がさらに大きくなり、また超低周波音は減衰し難いので、健康被害が遠方まで及ぶ可能性がある」とし、現在の音の調査方法について疑問を呈しています。このように風車の騒音についての被害は認められており、現行の調査方法では不十分であることは明らかです。

本事業計画想定区域から3,000m以内に複数の配慮を有する施設があり、慎重な対応が必要です。

(実際に存在する被害者)

事業者は「低周波音の苦情は事業所にきたことはない」と発言しました。しかし、貴社が運用する風力発電施設周辺に居住する住民を対象にした民間団体によるヒアリングでは複数の人が被害を訴えがあったと確認しています。方法書説明会では低周波音による健康被害の存在を認めない姿勢が明らかでした。被害を訴える方はどこに苦情を言えばいいのかわかりません。被害は個人差があり、因果関係の立証が難しく事業の妨害に捉えられる恐怖から、貴社へ直接苦情を訴えるのは心理的負担が大きいことが容易に想像できます。説明会に参加した住民の多くは、例えば健康被害があっても事業者は黙殺するだろうと不安を増大させました。貴社は事業の実施により加害者になりえる可能性があります。まず被害者に寄り添い、医学的視点で症状を認める姿勢があつて当然ではないでしょうか。

(低周波被害についてのまとめ)

環境省は低周波が健康被害をもたらす因果関係を示す知見は得られていない、との立場をとっています。しかし国連環境開発会議(地球サミット)で採択された「環境と開発に関するリオ宣言」に、「環境を保護するため、予防的方策は、各国により、その能力に応じて広く適用されなければならない。深刻な、あるいは不可逆的な被害のおそれがある場合には、完全な科学的確実性の欠如が、環境悪化を防止するための費用対効果の大きい対策を延期する理由として使われてはならない。」(第十五原則)とあります。低周波被害に科学的可能性がないとする方が難しく、現時点で低周波と健康被害の科学的確実性が得られていないとしても、対策を怠ってはなりません。

したがって以下の4点の実施を求めます。

①建設前の騒音及び低周波の調査では、実際の状況とかけ離れ現実的ではなく評価項目として納得できません。

実態調査として貴社が所有・運用する風力発電施設での医師による第三者ヒアリング調査の実施。貴社独自の環境アセスメント項目として調査・予測・評価を行い本事業での環境影響の回避に活用すること。 ②事業想定区域から2,000mの範囲に、配慮が必要な施設、住宅等が存在するとしています。しかし、山間部の反響があること、既存とは異なる大型の風力タービンであること、かつ「風力発電施設による超低周波音・騒音の健康影響」(2018年、石竹達也)の調査を踏まえ5,000m以上の距離を500m単位で区切り、施設と住宅の分布を詳細にし、各スケールでの調査・予測・評価。 ③建設後の調査では風車音の調査は平坦特性とFFT法を実施し、不十分な参照値ではなくポーランド基準を適用することを協定とし、基準を超えた場合は十分な対策と補償の約束。 ④低周波音の長期間曝露に対する事業者の見解の明記し、調査・予測・評価と十分な回避策。 (道路と豪雨) 風車の建設のためには新たな道路の建設が必要で、幅4～6m(側溝を加えると5～7m)のなるべく直線の道を作る、と事業者も認めるようです。しかし道路建設に伴う山林掘削は斜面を不安定化させ、土砂災害の危険性を高めます。掘削により排出した土砂等は現地に盛土や埋土を行ない、仮置き場を設置すると説明されています。これらは地震や豪雨の際には崩壊しやすく土砂災害の発生要因と指摘します。不用意な山地開発がその後の土砂災害に結びつく事例は、山地が多く降水量の多い日本の多くの災害で経験してきたことです。 「西日本豪雨」では、山の中に建設された道路からの表流水や排水不良を原因とする土砂崩壊、道路建設で行った谷埋め土砂の崩壊や法面の盛土の崩壊で土砂崩れや土石流が発生し、多くの人命が失われました。規模の大きな土砂災害(がけ崩れ・土石流災害)は大量の土砂流出を伴う洪水被害も引き起こすことは明瞭です。大量の土砂が下流の河床に堆積すれば河床の上昇も引き起こし、将来の太田川の災害にも結び付きます。近年豪雨の回数が増加し、時間雨量50mmを超える短時間強雨は30年前の1.4倍となっています。広島県でも局地的豪雨は時間雨量80mmを超える例もあります。建設された道路の排水不良、造成区域や盛土をした場所からの土砂の流出に対し、沈砂池や調整池で対応ができるとは考えられません。 (土砂災害についてのまとめ) 貴社の事業は土砂災害の危険性が高い地域にさらに危険性を増加させる事業です。しかし貴社は、地形改変を行うにもかかわらず、地形・地質については、「対象事業実施区域に(学術的に)重要な地形・地質がないため」として調査を行わないことを明記しています。保安林解除等の手続きで基準に沿った方法をとるとしていますが、土砂	
--	--

災害防止についての基準はありません。また通常の道路建設の基準は大きな土砂災害を発生させており、このような稜線部では十分とは言えません。山林の大規模な掘削や作られた道による影響は、時間の経過とともに増大化します。事業実施期間の終了により貴社の責任がなくなるものではありません。

環境影響評価法にかかわらず、次の7点での調査・予測・評価を求めます。

①溪流全域についての基盤岩の地質調査はもとより、溪流や斜面の土砂や巨レキ等の堆積状況、溪流や斜面の風化度についての地質調査を求めます。

②地震による建設した道路や造成した土地、残土の仮置き場の崩壊に伴う土砂災害の発生の調査・予測・評価十分な回避策の策定。

③工事によって掘削された土砂の盛土や埋め土は将来の土砂災害要因となる危険なものです。掘削された土砂の山中からの撤去。撤去の作業行程の明示。

④対象事業実施区域のうち、道路建設箇所ならびに風力発電機建設箇所についての詳細な地質の調査の実施。その際には、脆性破壊を起こした非変成の「含レキ泥岩」の詳細な分布と構造ならびにその風化度分布の明示。安全な道路工事を行えるよう慎重に配慮した計画の策定。特に風力発電機建設箇所については、ボーリング調査とともに少なくとも岩盤の亀裂や風化度の分布調査。尾根部での滑動等の危険性がないことを証明するとともに、岩盤の力学調査等を行い、支持構造物の支持地盤が、支持構造物の安定に必要な強度を有することを証明すること。

⑤非変成の「含レキ泥岩」地帯の工事は避け、この地質の箇所が土石流の源頭部とならないような工事の実施。道路や風力発電機建設場所からの排水が溪流に大量に流下することのないような工事をどのように行うかについての具体的な説明。

⑥事業予定地から発する溪流で、その上に道路や風力発電機を建設する場合は土石流の発生についてその溪流に応じた調査・予測・評価の実施。麓に土石流の特別警戒区域がある溪流には、その溪流の土石流の危険度に応じた砂防ダムの建設。

⑦残土の仮置き場については豪雨期も毎年訪れます。事業予定地内での残土の仮置き場設置行わず、他の場所にて安全な処分の実施。

クマタカの調査：

繁殖ステージごとに適切な調査時期や頻度を選定し、できるだけ多くの日数で調査の実施を求めます。視野図を作成するなどして、計画地内を飛翔または止まりをする希少猛禽類を見逃すことのないように定点を配置し、飛翔状況の正確な把握のためにレーザーレンジファインダーによる調査を求めます。調査により、クマタカのつがいのコアエリアの位置や範囲を把握し、風車の設置位置は

コアエリアの外郭から少なくとも 1km 以上隔離させることを求めます。風力発電機設置想定範囲が 3 つに分かれているので、環境影響をそれぞれの計画地または想定範囲で評価を行うだけではなく、これらを一つの計画地として捉えて累積的な影響の評価を具体的にかつ慎重に実施することを求めます。 その他の鳥類： オオタカとサシバは山地の森林環境においても繁殖する個体群がみられる、地域の専門家の調査によっても事業想定区周辺区域周辺でサシバとオオタカの生息が繁殖期に確認されています。オオタカとサシバも上位性の注目種として取り上げることを求めます。また風力発電機設置想定範囲が 3 つに分かれていますので、環境影響をそれぞれの計画地または想定範囲で評価を行うだけではなく、これらを一つの計画地として捉えて累積的な影響の評価を具体的にかつ慎重に実施することを求めます。 春および秋の渡りの時期に尾根筋を通過するハチクマ、サシバ、ハイタカ、ハリオアマツバメなどの多くの渡り鳥が飛翔しています。これらの鳥類の移動経路上に風車が建設されれば、貴社が自ら予測しているようにバードストライク等の深刻な影響が発生します。 渡り鳥調査は春季 3 回、秋季 3 回（春季：3～5 月、秋季：8～10 月）とし、定点観察法で調査するとしていますが、計画地とその周辺は中国地方でも重要な鳥類の渡り経路となっていることから、貴社は方法書に記載した調査方法にこだわらず、適切な時期に適切な回数の調査を実施し、計画地およびその周辺を通過する渡り鳥全般の飛翔状況の詳細を明らかにするよう求めます。事業想定区域内外は夜間に渡る鳥類も多いため、レーダーを使用した夜間調査も実施することを求めます。	
---	--

○日刊新聞紙による公告

・山陰中央新報（令和5年3月30日（木））

環境影響評価方法書の公表について（公告）

「環境影響評価法」に基づき、（仮称）日向山風力発電事業環境影響評価方法書を次のとおり縦覧し、説明会を開催いたします。

一、事業者の名称 シヤパン・リニューアブル・エナジー株式会社
代表者の氏名 代表取締役 中川 隆久
事務所の所在地 東京都港区六本木六丁目二番二十一号
六本木ヒルズタワー十五階

二、対象事業の名称 （仮称）日向山風力発電事業
種類 風力 規模 出力 最大四万二千キロワット

三、対象事業実施区域 島根県安来市

四、対象事業に係る環境影響を受ける範囲であると認められる地域の範囲 島根県安来市、松江市（景観のみ）

五、方法書の縦覧

縦覧場所 島根県庁環境政策課 安来市役所安来庁舎 広瀬庁舎
伯太庁舎、赤屋交流センター、井尻交流センター、
宇波交流センター、東比田交流センター、松江市
役所環境エネルギー課 都市政策課

縦覧期間 令和五年三月三十日（木）から令和五年五月二日（月）まで

縦覧時間 各施設の開庁日及び時間に準ずる

電子縦覧 https://www.jre.co.jp/news/2023/hiyayama_houhoushopp

六、意見書の提出 環境影響評価方法書について、環境の保全の見地からのご意見をお持ちの方は、書面に住所・氏名・意見を記入のうえ、縦覧場所に備え付けておきます。意見書箱にご投函くださるか、令和五年五月十八日（木）までに、問い合わせ先まで郵送ください（当日消印有効）。

七、住民説明会の開催を予定する日時及び場所

一、赤屋交流センター（島根県安来市伯太町赤屋二八二）
四月十二日（木）十九時三十分より

二、東比田交流センター（島根県安来市広瀬町東比田九五〇二）
四月十四日（金）十九時より

三、宇波交流センター（島根県安来市広瀬町宇波四八二二）
四月十五日（土）十三時より

四、井尻交流センター（島根県安来市伯太町井尻七七）
四月十五日（土）十九時より

五、くにびきメッセ（島根県松江市学園南一〇二）
四月二十二日（土）六〇一大会議室、十四時より

六、総合文化ホール アルテピア（島根県安来市飯島町七〇）
四月二十三日（日）会議室・展示室、十四時より

四月二十九日（土）大ホール、十四時より

八、問い合わせ先 シヤパン・リニューアブル・エナジー株式会社
事業開発本部 開発第一課 開発第二チーム
〒一〇六・〇〇三三 東京都港区六本木六丁目二番三十一号
六本木ヒルズタワー十五階
電話〇三（六四五五）四九〇〇 担当・畑

○地方公共団体の広報誌による「お知らせ」

・広報やすぎ

行政



令和5年度
土地・家賃価格等縦覧
帳簿の確認ができます
納税者（代理人を含む）
の皆さんが、自分の所有す
る土地または家賃の価格と
市内のほかの土地または家
賃の価格を確認すること
で、所有する土地や家賃の
価格が適正かどうかを比較
できる制度です。
縦覧期間 4月1日（出）5
月31日（入）8時30分～17時15
分（土日・祝日を除く）
縦覧場所 税務課（安来②）
持ち物 マイナンバーカー

ドなどの本人確認ができる
証明書類（代理人は委任状
が必要）
●令和5年度固定資産税課
税明細書をお送りします
納税者の皆さんに、令和
5年度固定資産の課税内容
を記載した、「課税明細書」
を4月上旬にお送りします
のでご確認ください。
◎税務課 TEL 23-3051

和6年2月22日（水）、受付時
間：8時30分～17時15分
（ただし、令和6年2月末
までに清掃を終了するもの
に限りです）
受付場所 環境政策課
申込方法 ▽申込書を環境
政策課まで提出してください
▽申込書は、環境政策
課（安来②）、広瀬・伯太
各③に設置しています。市
ホームページからダウン
ロードもできます。
注意事項 ▽自治会による
下水路（生活排水路）清
掃で発生する土砂回収の申
し込みを受け付けます。
受付期間 4月3日（月）～令

清掃日の2開庁日以内に行
いますので、交通の妨げに
ならない場所に出してください
▽不燃物や紙くず、
草、木などは入れないでく
ださい。▽濡れた上げ機
の貸し出しを希望する場合
は、申込書の記載欄にその
旨をご記入ください（台数
に限りがあるので、原則1
台です）
◎環境政策課
TEL 23-3100

令和5年度の保険料率
●健康保険料率：10・26%
（令和4年度10・35%）
●介護保険料率：1・82%
（令和4年度1・64%）
生活習慣病予防健診の自
己負担が4月から軽減され
ます。年に一度は健康診断
を受診しましょう。
◎全国健康保険協会島根支
部
TEL 0852-59・5140

風力発電事業に関わる環境影響
評価方法書の縦覧ができます

ジャパン・リニューアブル・エナ
ジー株式会社が、安来市内および雲
南市との行政界周辺で計画している
風力発電事業について、環境影響評
価の項目ならびに調査、予測および
評価の手法をまとめた「環境影響評
価方法書」の縦覧を行います。

「環境影響評価方法書」について、
環境保全の見地からの意見をお持ち
の人は、縦覧場所に備え付けの書面に
住所・氏名・意見（意見の理由を含む）
をご記入の上、意見書箱に投函する
か、問い合わせ先へ5月18日（消
印有効）までに郵送で提出ください。

対象事業 ▽（仮称）大出山風力
発電事業（以下、「大出山」） ▽
（仮称）日向山風力発電事業（以下、
「日向山」）

縦覧場所 ▽【共通】市役所安来②、
広瀬② ▽【大出山のみ】山佐
③、奥田原③ ▽【日向山のみ】
市役所伯太②、赤屋・井尻・宇波・
東比田の各③

縦覧期間 3月30日（水）～5月1日（月）
その他 方法書の縦覧期間中に住民
説明会を実施します。また、詳細
日程、電子縦覧はホームページ（下
記2次元コード）を参照
ください。3月30日（水）か
ら閲覧できます。



◎ジャパン・リニューアブル・エナジー
株式会社 事業開発本部 開発第1
部 開発第2チーム
担当：池田（大出山）、畑（日向山）
〒106-0032 東京都港区六本木六丁目
2-31 六本木ヒルズノースタワー15階
TEL 03-6455-4900（代表）

○新聞折込

・安来市配布分 (B3 判)

「(仮称)大出山風力発電事業」及び「(仮称)日向山風力発電事業」環境影響評価方法書の縦覧のお知らせ

ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社が、鳥根県安来市内及び雲南市との行政界周辺で計画をしている風力発電事業について、調査、予測及び評価の実施計画をまとめた「環境影響評価方法書」の縦覧を行います。

「(仮称)大出山(おおしびざん)風力発電事業」

事業概要
事業区域：雲南市及び安来市の行政界周辺
発電規模：46,200kW
(4,200kW程度×最大13基)

縦覧及び意見受付期間
令和5年3月30日(木)～5月1日(月)
意見受付期間は5月18日(木)まで

縦覧の場所・時間

- 鳥根県庁環境政策課
- 安来市役所安来庁舎
- 山交交流センター
- 雲南市役所各総合センター(大東を除く5カ所)
- 加茂総合センター、木次総合センター、三刀屋総合センター
- 古田総合センター、市合総合センター
- 雲南市大東町内の各交流センター(8カ所)
- 大東交流センター、新橋交流センター、藤原交流センター、佐世交流センター
- 阿波交流センター、久野交流センター、黒瀬交流センター、飯田交流センター
- 松江市役所環境エネルギー課
- 松江市役所都市政策課

電子縦覧 事業者ホームページ
https://www.jre.co.jp/news/2023ooshibizan_houhouhoucho

方法書の内容に対するご意見・ご質問は、住所・氏名・内容を記載の上、縦覧場所の意見箱へ投函くださるか、問い合わせ先へ5月18日(木)(消印有効)までに郵送でご提出ください。

説明会の場所・日程 以下の日程で住民説明会を実施します。

安来市総合文化ホール アルテシア	4/23(日) 10:00～12:00
------------------	---------------------

「(仮称)日向山(ひなやま)風力発電事業」

事業概要
事業区域：安来市
発電規模：42,000kW
(4,200kW程度×最大11基)

縦覧及び意見受付期間
令和5年3月30日(木)～5月1日(月)
意見受付期間は5月18日(木)まで

縦覧の場所・時間

- 鳥根県庁環境政策課
- 安来市役所安来庁舎
- 山交交流センター
- 安来市役所白木庁舎
- 赤坂交流センター
- 井尻交流センター
- 宇波交流センター
- 栗比田交流センター
- 松江市役所環境エネルギー課
- 松江市役所都市政策課

電子縦覧 事業者ホームページ
https://www.jre.co.jp/news/2023hinayama_houhouhoucho

方法書の内容に対するご意見・ご質問は、住所・氏名・内容を記載の上、縦覧場所の意見箱へ投函くださるか、問い合わせ先へ5月18日(木)(消印有効)までに郵送でご提出ください。

説明会の場所・日程 以下の日程で住民説明会を実施します。

赤坂交流センター	4/13(木) 19:30～21:00
栗比田交流センター	4/14(金) 19:00～20:30
宇波交流センター	4/15(土) 13:00～14:30
井尻交流センター	4/15(土) 19:00～20:30
安来市総合文化ホール アルテシア	4/23(日) 14:00～16:00

問い合わせ先 ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社
〒106-0032 東京都港区六本木六丁目2-31 六本木ビルズタワー16階
事業開発本部 縦覧第1課 縦覧第2チーム
TEL: 03-6455-4900 (大出山風力担当: 池田、日向山風力担当: 藤)

・松江市配布分 (B3 判)

「(仮称)大出山風力発電事業」及び「(仮称)日向山風力発電事業」環境影響評価方法書の縦覧のお知らせ

ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社が、鳥根県安来市内及び雲南市との行政界周辺で計画をしている風力発電事業について、調査、予測及び評価の実施計画をまとめた「環境影響評価方法書」の縦覧を行います。

「(仮称)大出山(おおしびざん)風力発電事業」

事業概要
事業区域：雲南市及び安来市の行政界周辺
発電規模：46,200kW
(4,200kW程度×最大13基)

縦覧及び意見受付期間
令和5年3月30日(木)～5月1日(月)
意見受付期間は5月18日(木)まで

縦覧の場所・時間

- 鳥根県庁環境政策課
- 松江市役所都市政策課
- 松江市役所環境エネルギー課
- 安来市役所安来庁舎
- 山交交流センター
- 雲南市役所各総合センター(大東を除く5カ所)
- 加茂総合センター、木次総合センター、三刀屋総合センター
- 古田総合センター、市合総合センター
- 雲南市大東町内の各交流センター(8カ所)
- 大東交流センター、新橋交流センター、藤原交流センター、佐世交流センター
- 阿波交流センター、久野交流センター、黒瀬交流センター、飯田交流センター
- 松江市役所環境エネルギー課
- 松江市役所都市政策課

電子縦覧 事業者ホームページ
https://www.jre.co.jp/news/2023ooshibizan_houhouhoucho

方法書の内容に対するご意見・ご質問は、住所・氏名・内容を記載の上、縦覧場所の意見箱へ投函くださるか、問い合わせ先へ5月18日(木)(消印有効)までに郵送でご提出ください。

説明会の場所・日程 以下の日程で住民説明会を実施します。

くびきメッセ	4/22(土) 14:00～16:00
--------	---------------------

「(仮称)日向山(ひなやま)風力発電事業」

事業概要
事業区域：安来市
発電規模：42,000kW
(4,200kW程度×最大11基)

縦覧及び意見受付期間
令和5年3月30日(木)～5月1日(月)
意見受付期間は5月18日(木)まで

縦覧の場所・時間

- 鳥根県庁環境政策課
- 松江市役所都市政策課
- 松江市役所環境エネルギー課
- 安来市役所安来庁舎
- 山交交流センター
- 安来市役所白木庁舎
- 赤坂交流センター
- 井尻交流センター
- 宇波交流センター
- 栗比田交流センター
- 松江市役所環境エネルギー課
- 松江市役所都市政策課

電子縦覧 事業者ホームページ
https://www.jre.co.jp/news/2023hinayama_houhouhoucho

方法書の内容に対するご意見・ご質問は、住所・氏名・内容を記載の上、縦覧場所の意見箱へ投函くださるか、問い合わせ先へ5月18日(木)(消印有効)までに郵送でご提出ください。

説明会の場所・日程 以下の日程で住民説明会を実施します。

くびきメッセ	4/22(土) 14:00～16:00
--------	---------------------

問い合わせ先 ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社
〒106-0032 東京都港区六本木六丁目2-31 六本木ビルズタワー16階
事業開発本部 縦覧第1課 縦覧第2チーム
TEL: 03-6455-4900 (大出山風力担当: 池田、日向山風力担当: 藤)



自らは、環境影響評価法に基づき、『世帯・自治体別の環境意識調査』(以下、『世帯調査』)とも呼ばれる29自治体で確率無偏抽出に基
けました。

世帯数について、下記のとおり記載します。

▼ 日本政治新聞について ▼ 日本経済新聞について ▼ 日本教育新聞について ▼ 新聞・出版関係

公開場所

NOT THE SAME

平成25年7月30日（水）～平成25年8月1日（月）
（土・日・祝日、当館が休館日となります）

問值填用，日時

開催場所	日時
(1) 学習交流センター (安永市立大町会館113・2)	令和5年4月13日(木) 19時30分～21時00分
(12) 東証交流センター (安永市立福祉会館50・11)	令和5年4月14日(金) 19時00分～20時30分
(13) 東証交流センター (安永市立福祉会館48・2)	令和5年4月15日(土) 13時00分～14時30分
(14) 東証交流センター (安永市立大町会館112)	令和5年4月15日(土) 19時00分～20時30分
(15) くびぎまっせ (加江町会館1・2・3・301会館裏)	令和5年4月22日(土) 14時00分～16時00分
(16) 総合文化ホールアルビダ (安永市総合庁70) 展示室・会議室	令和5年4月23日(日) 14時00分～16時00分
(17) 総合文化ホール アルビダ (安永市総合庁70) ホール	令和5年4月29日(土・日) 14時00分～16時00分

インターネットによる閲覧

※本書はPDFファイル（約17.15メガバイト）であり、印刷及びダウンロードはできません。

※ブラウザは、Chrome、Edge、Firefox、Safariの最新バージョンとそれ以前のメジャーリリースバージョンを動作対象としています。PDFの閲覧ができない場合は、ブラウザの最新バージョンをインストール済み、再度ご確認ください。
※Internet Explorer には対応しません。

目次

表紙	印刷ページ
表紙目次	印刷ページ
第1章 事業概要の名称、代表者の氏名及び法人本部住所の所在地	印刷ページ
第2章 計画事業の目的及び内容	印刷ページ
第3章 計画事業実施区域及びその周辺の概況	印刷ページ
3.1 自然状況	印刷ページ
3.2 社会的状況	印刷ページ
第4章 計画事業実施区域の概要、土地利用計画の概要	印刷ページ
第5章 計画事業実施に係る環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の方法	印刷ページ
第6章 その他関係法令等に関する事項	印刷ページ
第7章 環境影響評価所長等が命じた各事項の処理、計画書の作成及び定まる事項の所在地	印刷ページ
付録資料	印刷ページ
索引	印刷ページ

意見書の提出について

計画書について環境の保全の観点からご意見をいただくのは、当然、役所及び事業者と市民のうえ、以下のいずれかの方法で意見を寄せられます。

- ① 知事宛に提出される意見書に付す（令和5年5月18日（木）まで）
- ② 下記の宛先に郵送（令和5年5月18日（木）まで）

〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番11号サウス・エクスプレスビル
ジェン・コミュニケーション・エナジー株式会社
事業開発本部 開発第1部 開発第2チーム 宛

意見書用紙 印刷ページ

お問い合わせ先

ジェン・コミュニケーション・エナジー株式会社
事業開発本部 開発第1部 開発第2チーム 担当 氏 佐藤
電話 03-6455-4900（代表）
（土・日・祝日を除く、午前9時～午後5時まで）

・安来市のウェブサイト

[ホーム](#)
[お問い合わせ](#)
[お問い合わせ](#)
[お問い合わせ](#)
[お問い合わせ](#)

[安来市](#)
[暮らし](#)
[しごと](#)
[市政](#)

[トップページ](#) > [暮らし](#) > [ごみ・資源・環境](#) > [ごみ・資源・環境](#) > [ごみ・資源・環境](#) > 風力発電事業に係る「環境影響評価方法書」の縦覧のお知らせ

風力発電事業に係る「環境影響評価方法書」の縦覧のお知らせ

概要

ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社は、安来市内および豊後市との市界河川沿いで計画している風力発電事業について、環境影響評価の進展ならびに調査、予測および評価の手法をまとめた「環境影響評価方法書」の縦覧を行います。

対象事業

- ・（名称）大出山（おおしげさん）風力発電事業（以下、大出山）
- ・（名称）日向山（ひなやま）風力発電事業（以下、日向山）

事業者

ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社

発電規模

【大出山】46,200kW（4,200kW級風車×最大13基）
【日向山】42,000kW（4,200kW級風車×最大11基）

縦覧について

場所

【大出山】安来市役所安来庁舎、広瀬庁舎
【大出山のみ】山佐交流センター、奥田交流センター
【日向山のみ】安来市役所佐々木庁舎および各課、平瀬、平瀬、平瀬の各交流センター

期間

【縦覧および意見書受付期間】令和5年3月30日（木曜）～5月18日（木曜）
※方法書の内容に対するご意見・ご質問は、住所・氏名・内線番を記載の上、縦覧場所の意見書へ提出するか、問合せ先へ5月18日（木曜）（満期前日）までに郵送してください。

電子縦覧

【大出山】https://www.jre.co.jp/news/2023/oshizawa_houhouhou.php
【日向山】https://www.jre.co.jp/news/2023/hinayama_houhouhou.php
※3月30日から縦覧いただけます。

住民説明会

以下の日程で住民説明会を開催します。

【大出山】
・アルデビア4月23日（日曜）10：00～12：00（定員70名）
・アルデビア4月29日（土曜）10：00～12：00（定員1,000名）

【日向山】
・奥田交流センター4月13日（木曜）19：30～21：00
・山佐交流センター4月14日（金曜）19：00～20：30
・平瀬交流センター4月15日（土曜）13：00～14：30
・山佐交流センター4月15日（土曜）19：00～20：30
・アルデビア4月23日（日曜）14：00～16：00（定員70名）
・アルデビア4月29日（土曜）14：00～16：00（定員1,000名）

※4月29日（土曜）の説明会は、23日（日曜）の延長で開催されるもので、内容は23日と同じ方法書についての説明です。

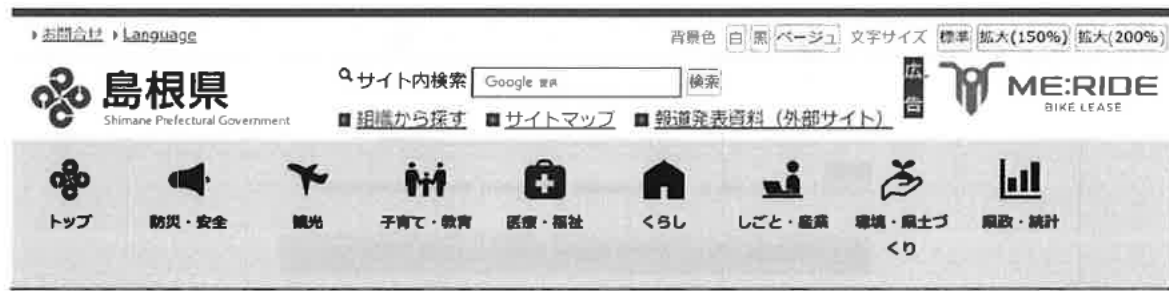
問合せ先

ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社
事業開発本部開発課1部開発課2チーム担当：佐田（大出山）、橋（日向山）
〒106-0032東京都港区六本木六丁目3-13六本木ヒルズノースタワー15階
電話03-6455-4900（代表）

このページに関するお問い合わせ

市民生活部環境政策課
郵便番号：692-8666
住所：豊後県安来市安来町878-2（安来庁舎）
電話：0854-23-3100
ファックス：0854-23-3168
メールアドレス：kanayou@city.yasugi.shimane.jp
（メールアドレスの「@」は半角「@」に置き換えてください。）

・島根県のウェブサイト



トップ > 環境・国土づくり > 環境・リサイクル > 環境 > 環境影響評価制度（環境アセスメント） > 各種アセスメント事業 > （仮称）日向山風力発電事業

[\[環境政策課\]](#)

（仮称）日向山風力発電事業環境影響評価

（仮称）日向山風力発電事業

対象事業名	（仮称）日向山風力発電事業
対象事業実施予定者	ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社
対象事業規模	発電所出力最大42,000kw
対象事業実施区域	島根県安来市
関係地域	島根県安来市
環境影響評価その他の手続きの実施根拠	島根県環境影響評価条例
配慮書送付	令和4年11月22日
配慮書公告・縦覧	令和4年11月22日から12月21日まで
配慮書についての公告方法	関係地域の広報誌に掲載、日刊新聞紙に掲載
配慮書に対する委員意見書(PDF:280KB)	令和5年3月7日
方法書送付	令和5年3月29日
方法書公告・縦覧	令和5年3月30日から5月1日
方法書についての公告の方法	関係地域の広報誌に掲載、日刊新聞紙に掲載

閱覽用紙

ご住所

ご氏名

恐れ入りますが、閲覧のみの場合でも、ご住所・ご氏名のみをご記入、ご投函ください。

※閲覧数確認のため、御協力をお願い致します。

令和5年 月 日

[illegible]

